

インフロニア・ホールディングス
26年3月期 第3四半期 アナリスト向け決算説明会



February 10, 2026

26年3月期 第3四半期 決算説明資料 INDEX

1. 経営環境認識
2. 決算サマリー
3. 資本戦略・還元方針
／FY25 3Q時点の実績と通期見込
4. インフロニア・ホールディングスの業績数値
【推移・前年比】
5. セグメント別 業績数値
6. セグメント分類変更について
7. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移
【建築、土木セグメント】
8. 連結貸借対照表の主な増減の要因
9. 株価の推移
10. 社債型種類株式発行による財務指標等への影響

= Appendix =

セグメント別 ハイライト

1. 建築セグメント
2. 土木セグメント
3. インフラ運営セグメント
 1. 前田建設工業
 2. 日本風力開発
4. 舗装セグメント
5. 機械セグメント

FY25 3Q実績とFY25通期計画

1. 前田建設工業
2. 前田道路
3. 前田製作所
4. 日本風力開発
5. 三井住友建設
6. 主なグループ会社

補足資料

※注 決算短信の数値には、各セグメントに所属する関係会社の業績が含まれており、個別数値とは合致しません

1. 経営環境認識

- 市場環境や受注環境、資材価格等に関する当社の認識、対応

セグメント	市場	市場認識	当社の状況	当社の取組み
建 築		建設投資額は高水準を維持しているが、着工床面積は微減傾向。建設費高騰によるプロジェクトの中止・延期の発生状況を注視		MK・SMC双方の強みを活かし、中長期的な案件情報の取得に注力するとともに、スケールメリットの実現、新たな成長領域の取り込みを目指す。来期以降の完工高アップに資する取組をMK・SMC双方で強化中
土 木		防災・減災、国土強靱化による公共事業と脱炭素に関連する民間投資の堅調な推移が、景気を下支えする。担い手不足や資材価格の高騰といった課題が依然としてあるものの土木工事は過去数年の規模を維持		公共工事では、国交省の防災・減災、国土強靱化加速化対策、能登半島地震復旧関連工事、防衛省の自衛隊施設強靱化計画に基づく工事に注力。民間工事では原発再稼働、再エネ、カーボンニュートラル関連の工事に注力。アンモニア貯蔵タンク市場にも注目
インフラ 運 営 (MK)		官民連携市場は、アリーナやウォーターPPPが本格的に案件化。再生可能エネルギー市場は、インフレ等によるコスト増があるものの、データセンターや半導体工場などの相次ぐ稼働も影響し、再エネの価値が上昇。市場は拡大傾向にある		過去の受注案件の経験を活かし、さらなる案件獲得に取り組む。業績については着実な収益確保を見込む
インフラ 運 営 (JWD)				再エネ価値の高まりを背景として着実に開発案件を推進。短中期では投資が先行するが、中長期的には収益増を見込む
舗 装		道路事業費は2010年度以降横ばい、アスファルト合材出荷量は減少傾向		受注時利益率の改善と適切な価格設定により収益確保を見込む
機 械		国内においては、公共投資等に支えられ、ほぼ横這いに推移。海外においては、欧州を中心にカーボンニュートラルに対応する製品の需要は根強い		バッテリー仕様機やICT建機を中心とした高付加価値製品の販売・レンタルを強化、また、高利益率のサービス事業を確実に取り込むことで利益確保を図る

※MK：前田建設 SMC：三井住友建設 JWD：日本風力開発

2. 決算サマリー

セグメント	決算サマリー
インフロニア	• FY25 3Q実績は、前年同期比で増収増益。売上高・事業利益・EBITDA・当期利益はHD設立以来過去最高となった • 当期利益は、投資資産の評価益計上等により、前年同期比で308億円増加（前年同期比約2.5倍） • 全従業員向けの株式給付信託（J-ESOP）の費用増加、金融資産の評価益計上等により通期計画を修正（事業利益-19億円、当期利益 + 46億円） • 2月10日の通期業績予想修正に伴い、期首時点より期末配当を32円増配
建築	• 前田建設の3Q実績は、前年同期比で増収増益。通期計画達成に向け、順調に進捗 • 三井住友建設の3Q実績は、前年同期比で減収増益。通期計画は達成見込み
土木	• 前田建設の3Q実績は、前年同期比で増収増益。重点現場の工事進捗管理及び設計変更の獲得額向上により、通期計画達成を見込む • 三井住友建設の3Q実績は、前年同期比で減収も利益は同水準。通期業績は、手持工事の工事進捗管理、設計変更の獲得並びに新規案件の早期着手により、計画達成を見込む
インフラ運営	• 前田建設グループの3Q実績は、前年同期比で増収増益。愛知道路コンセッション、大阪工業用水等のコンセッション事業の堅調な進捗、菰野ヴィラ売却により、通期計画達成を見込む • 日本風力開発の3Qの実績は、前年同水準。O&Mの順調な進捗により修正後の通期計画達成を見込む
舗装	• 3Q実績は、受注時利益管理の徹底や、適切な価格転嫁により、前年同期比で増収増益 • 受注時利益率の確保や適切な販売価格の維持により通期計画の達成を見込む
機械	• 3Q実績は、建機本体の受注減少や一部商品の商流変更により売上高は減収。1Qに価格改定を実施したことや生産の効率化により、売上総利益率は改善 • 通期計画達成に向けて、高付加価値製品の販売・レンタル強化により売上・利益の増加を図る

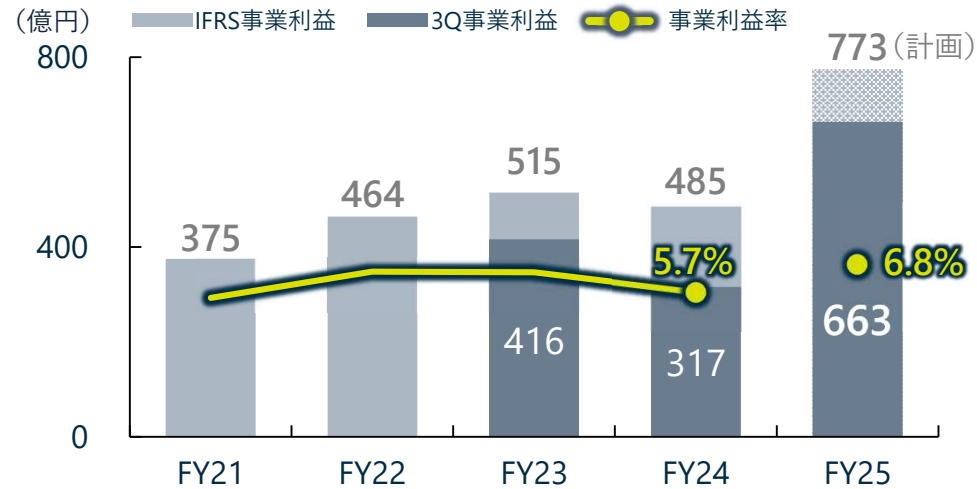
3. 資本戦略・還元方針／FY25 3Q時点の実績と通期見込

4

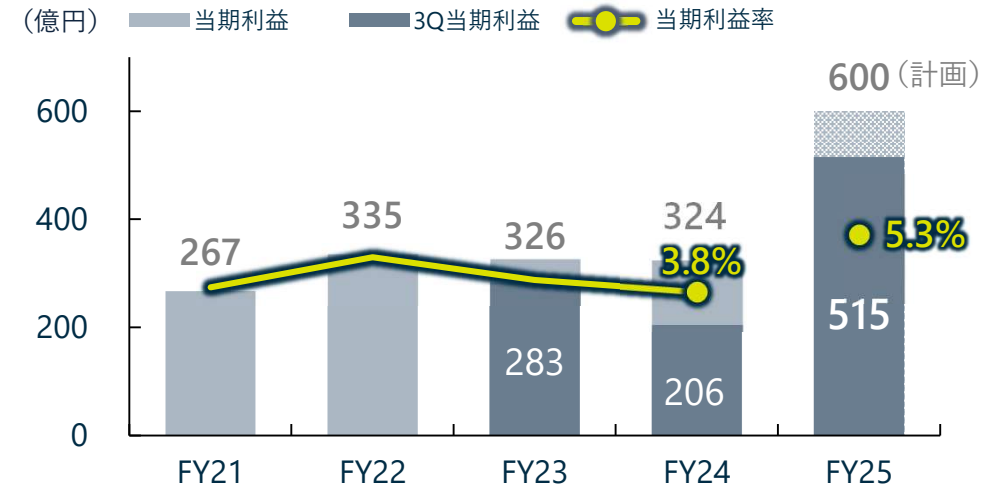
Medium-term Vision 2027			FY24実績	FY25 3Q実績・ 通期見込	
資本効率	ROE	12.0%	7.5%	12.6% (通期)	2/10 期末業績見込みを上方修正
最適 資本構成	自己資本比率	30%以上	35.8%	30.3% (3Q)	三井住友建設株式取得に伴うブリッジローン調達により有利子負債が増加
	D/Eレシオ	1.0倍以下	0.8倍	1.0倍 (3Q)	
株主還元	配当性向	FY25~27 40%以上	48.3%	40.0%	社債型種類株式配当は除く
	配当額	下限配当 60円/株	60円/株	30円 (中間) 62円 (期末) 92円/株	期末配当予想の引上げ 9/30 30円⇒48円 11/14 48円⇒55円 2/10 55円⇒ 62円
資産 効率化	政策保有株/ 純資産割合	FY27までに 保有 ゼロ	14.7%	14.7% (3Q)	3Qまでに192億円売却 保有株式の株価上昇により純 資産に占める割合は変わらず
	保有不動産 の売却	FY27までに 100億 以上	—	—	保有資産の精査、売却候補 の選定やスキームの検討中

4-1. インフロニア・ホールディングスの業績数値の推移

事業利益

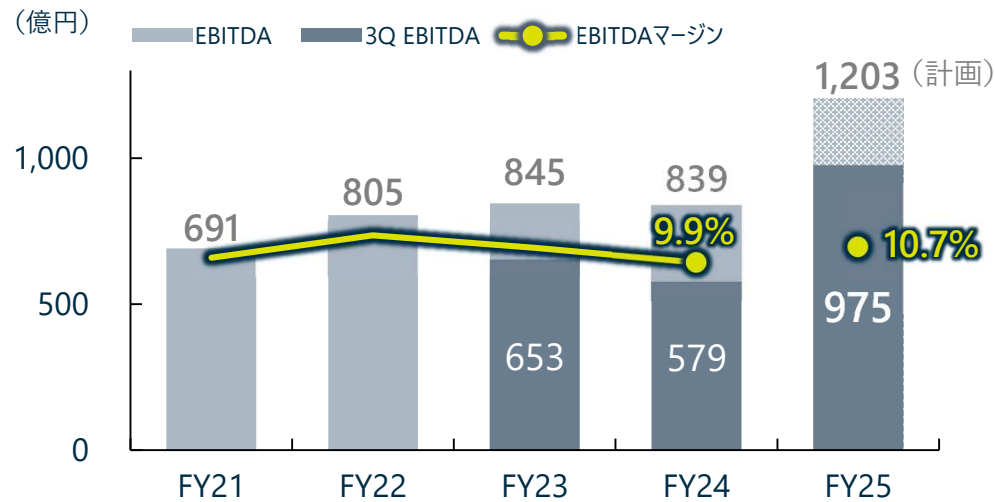


当期利益



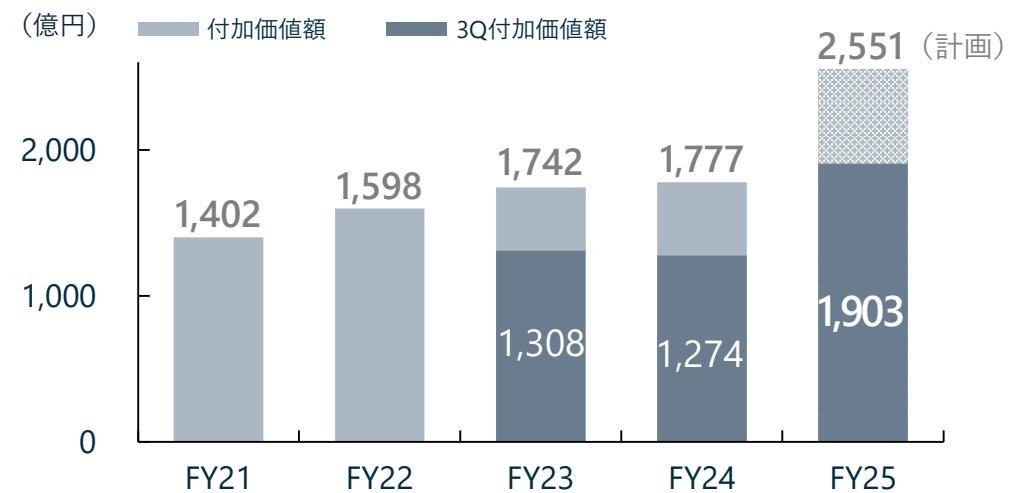
EBITDA

EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 (IFRS)



付加価値額

付加価値額 = 事業利益 + 減価償却費 + 総人件費 + 研究開発費 (IFRS)



* 通期実績値：FY22よりIFRS基準による数値

* 3Q実績値：FY23よりIFRS基準による数値

4-2. インフロニア・ホールディングスの業績数値

- ・FY25 3Q実績は、**前年同期比で増収増益**。売上高・EBITDA・事業利益・当期利益はHD設立以来過去最高となった
- ・当期利益は、投資資産の評価益計上等により、前年同期比で308億円増加（前年同期比約2.5倍）
- ・全従業員向けの株式給付信託（J-ESOP）の費用増加、金融資産の評価益計上等により通期計画を修正（事業利益-19億円・当期利益 **+46億円**）

(億円)

	第3四半期				通 期		
	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	前年 同期比	進捗率	FY24 通期実績	FY25 2/10 修正計画	前期比
売上高	6,044	7,686	1,642	68.0%	8,475	11,300	2,825
売上総利益	794 (13.1%)	1,125 (14.6%)	331	72.4%	1,155	1,554 (13.8%)	399
一般管理費	485 (8.0%)	609 (7.9%)	123	65.8%	683	926 (8.2%)	243
持分法による投資利益 ^{※1}	8 (0.1 %)	147 (1.9%)	139	101.4%	14	145 (1.3%)	131
EBITDA	579 (9.6%)	975 (12.7%)	396	81.0%	839	1,203 (10.7%)	364
事業利益	317 (5.2%)	663 (8.6%)	346	85.8%	485	773 (6.8%)	288
その他の収益	11	11	0	—	18	23	5
その他の費用	16	69	53	—	32	100	68
営業利益	312 (5.2%)	605 (7.9%)	293	86.9%	471	696 (6.2%)	225
金融収益	59	215	157	—	105	328	223
金融費用	38	57	19	—	79	97	18
当期利益 ^{※2}	206 (3.4%)	515 (6.7%)	308	85.8%	324	600 (5.3%)	276
自己資本	5,022	5,759	—	—	5,191	5,840	—
ROE（普通株式）	—	—	—	—	7.5%	12.6 %	—
EPS	—	—	—	—	124.2円	229.7 円	—

※1 関連会社投資に係る売却益を含む ※2 親会社の所有者に帰属する当期利益 ※数値は小数点以下を四捨五入しているため、表記数値の合計は一致しない

5. セグメント別 業績数値（前年同期比）

（億円）

7

		FY24		FY25		前年	進捗率
		3Q実績		3Q実績		同期比	（通期計画比）
売上高		6,044		7,686		1,642	68.0%
建築		2,502		3,361		859	67.4%
土木		1,046		1,680		634	63.4%
舗装		1,950		2,060		110	72.0%
機械		308		280		△28	69.7%
インフラ運営	MK	180		248		68	78.8%
	JWD	38		38		0	70.3%
その他		20		19		△1	61.6%
売上総利益		794	(13.1%)	1,125	(14.6%)	331	72.4%
建築		228	(9.1%)	403	(12.0%)	175	77.1%
土木		200	(19.1%)	292	(17.4%)	92	67.1%
舗装		269	(13.8%)	307	(14.9%)	38	76.5%
機械		67	(21.8%)	67	(24.1%)	0	64.7%
インフラ運営	MK	16	(8.7%)	45	(18.0%)	29	70.9%
	JWD	11	(28.1%)	7	(17.6%)	△4	47.6%
その他		3	(16.7%)	4	(23.0%)	1	31.4%
EBITDA		579	(9.6%)	975	(12.7%)	396	81.1%
建築		120	(4.8%)	270	(8.0%)	150	86.7%
土木		132	(12.6%)	201	(12.0%)	69	71.8%
舗装		229	(11.8%)	237	(11.5%)	8	77.0%
機械		37	(11.9%)	33	(11.9%)	△4	73.8%
インフラ運営	MK	54	(30.2%)	80	(32.3%)	26	74.9%
	JWD	△9	(△23.7%)	△15	(△39.8%)	△6	107.9%
その他		15	(76.8%)	169	(883.2%)	154	101.6%
事業利益		317	(5.2%)	663	(8.6%)	346	85.8%
建築		66	(2.6%)	197	(5.9%)	131	97.4%
土木		103	(9.9%)	160	(9.5%)	57	74.9%
舗装		149	(7.7%)	154	(7.5%)	5	83.1%
機械		18	(6.0%)	13	(4.6%)	△5	65.0%
インフラ運営	MK	△9	(△5.1%)	13	(5.4%)	22	84.2%
	JWD	△20	(△51.4%)	△27	(△70.0%)	△7	91.7%
その他		8	(41.2%)	152	(795.2%)	144	92.6%

※MK：前田建設 JWD：日本風力開発 ※舗装セグメントはPPA資産の償却が加味されている ※インフラ運営セグメントのJWDはPPA資産の償却が加味されている

※数値は小数点以下を四捨五入しているため、表記数値の合計は一致しない ※FY25 2Qでセグメント変更を行ったため、前期数値・期首計画も新セグメントにて算出している

5. セグメント別 業績数値（通期計画推移）

(億円) 8

		FY24	FY25			FY25	FY25	FY25	期首計画比
		通期実績	期首計画①			11/14修正計画	2/10修正計画②	②-①	
売上高		8,475	8,963			11,330	11,300	2,337	
建築		3,634	3,848			5,027	4,987	1,139	
土木		1,464	1,739			2,776	2,651	912	
舗装		2,631	2,576			2,748	2,861	285	
機械		410	401			401	401	0	
インフラ	MK	307	270			293	315	45	
運営	JWD	61	94			54	54	△40	
その他		28	35			31	31	△4	
売上総利益		1,155 (13.5%)	1,304 (14.5%)			1,578 (13.9%)	1,554 (13.8%)	250	
建築		340 (9.3%)	387 (10.1%)			520 (10.3%)	523 (10.5%)	136	
土木		292 (20.0%)	312 (17.9%)			456 (16.4%)	435 (16.4%)	123	
舗装		368 (14.0%)	391 (15.2%)			409 (14.9%)	401 (14.0%)	10	
機械		91 (22.2%)	106 (26.4%)			106 (26.4%)	104 (25.9%)	△2	
インフラ	MK	31 (10.2%)	50 (18.5%)			58 (19.8%)	63 (20.0%)	13	
運営	JWD	27 (43.4%)	43 (45.7%)			14 (25.9%)	14 (25.9%)	△29	
その他		6 (22.6%)	15 (42.9%)			15 (48.4%)	14 (45.2%)	△1	
EBITDA		839 (9.8%)	918 (10.2%)			1,220 (10.8%)	1,203 (10.6%)	285	
建築		186 (5.1%)	224 (5.8%)			296 (5.9%)	312 (6.3%)	88	
土木		191 (13.0%)	196 (11.2%)			300 (10.8%)	280 (10.6%)	84	
舗装		310 (11.8%)	299 (11.6%)			305 (11.1%)	307 (10.7%)	8	
機械		46 (11.3%)	47 (11.7%)			47 (11.7%)	45 (11.2%)	△2	
インフラ	MK	80 (26.1%)	108 (40.0%)			119 (40.6%)	107 (34.0%)	△1	
運営	JWD	△2 (△2.7%)	15 (16.0%)			△14 (△26.0%)	△14 (△25.9%)	△29	
その他		27 (93.3%)	29 (82.9%)			167 (538.7%)	166 (535.5%)	137	
事業利益		485 (5.7%)	545 (6.1%)			792 (7.0%)	773 (6.8%)	228	
建築		114 (3.1%)	147 (3.8%)			193 (3.8%)	202 (4.1%)	55	
土木		154 (10.5%)	154 (8.9%)			229 (8.2%)	214 (8.1%)	60	
舗装		197 (7.5%)	192 (7.5%)			198 (7.2%)	186 (6.5%)	△6	
機械		22 (5.3%)	24 (6.0%)			24 (6.0%)	20 (5.0%)	△4	
インフラ	MK	△4 (△1.3%)	1 (0.4%)			12 (4.1%)	16 (5.1%)	15	
運営	JWD	△16 (△25.4%)	△1 (△1.2%)			△30 (△55.6%)	△29 (△53.7%)	△28	
その他		18 (64.4%)	28 (80.0%)			166 (535.5%)	164 (529.0%)	136	

※MK：前田建設 JWD：日本風力開発 ※舗装セグメントはPPA資産の償却が加味されている ※インフラ運営セグメントのJWDはPPA資産の償却が加味されている
 ※数値は小数点以下を四捨五入しているため、表記数値の合計は一致しない ※FY25 2Qでセグメント変更を行ったため、前期数値・期首計画も新セグメントにて算出している

6. セグメント分類変更について

- 三井住友建設との経営統合に伴い、前田建設と三井住友建設の関係会社セグメント分類を整理した

前田建設グループ会社

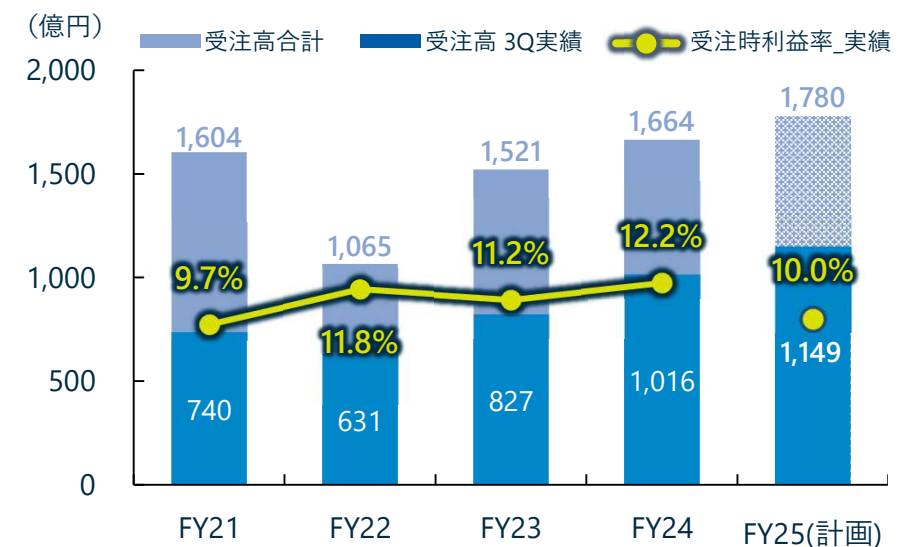
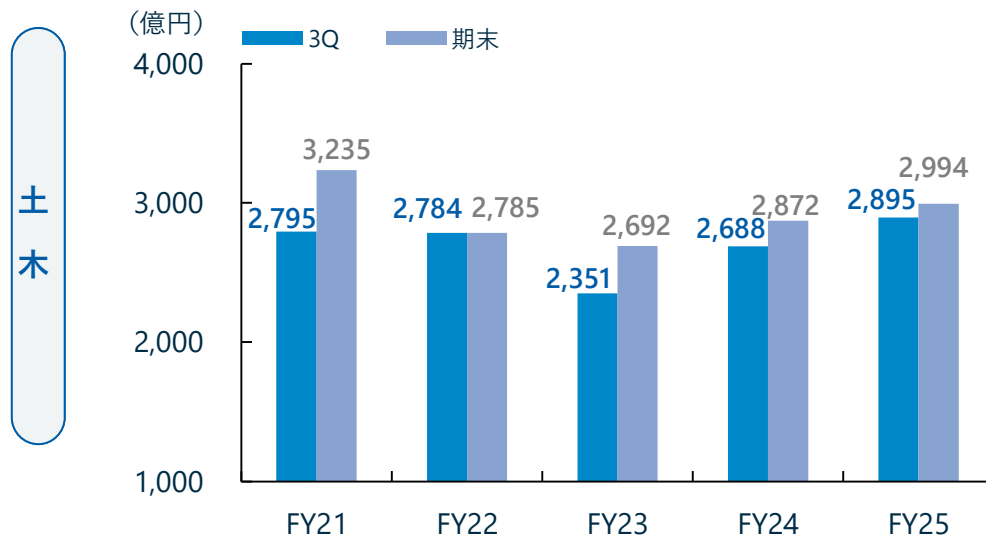
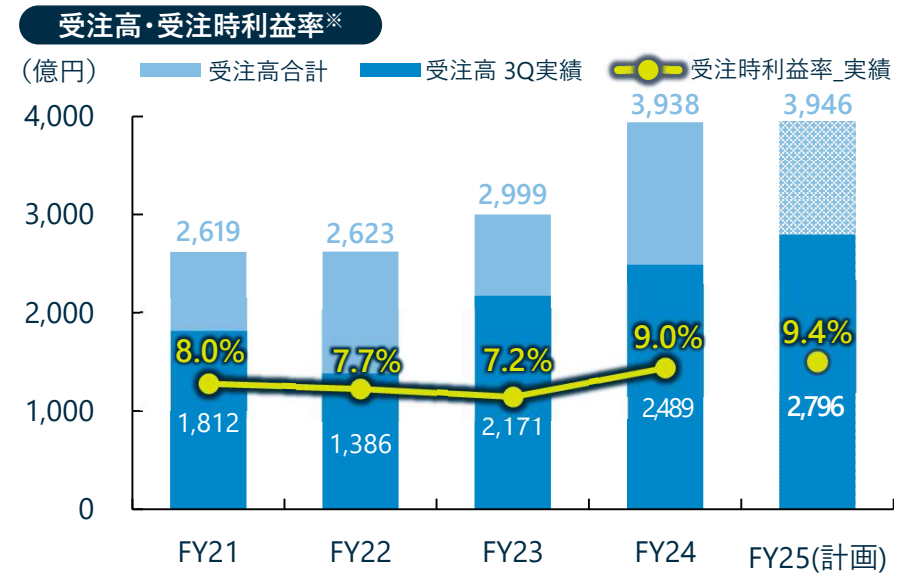
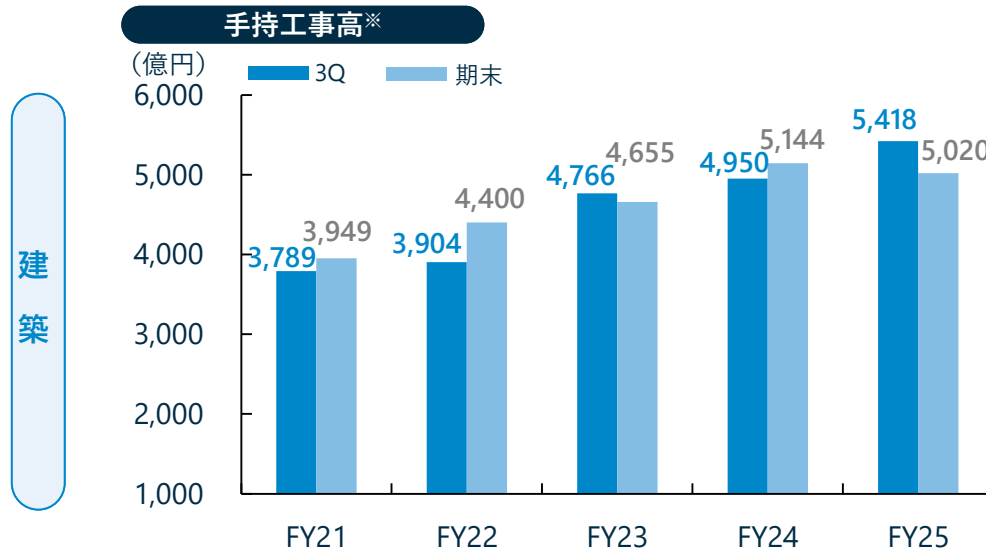
会社分類	社名	現セグメント	新セグメント
連結子会社	(株) J M	その他	> 建築
連結子会社	(株)エフビーエス + アコス	その他	> 建築
連結子会社	THAI MAEDA CORPORATION,LIMITED	その他	> 建築
連結子会社	フジミ工研(株) + 日本セグメント工業	その他	> 土木
連結子会社	インフロニアデジタルソリューション(株)	その他	> その他
連結子会社	(株)ジェイシティー	その他	> その他
連結子会社	(株)リアルテック	その他	> その他
連結子会社	Maeda Vietnam Co.,Ltd	その他	> 建築
連結子会社	(株)ちばシティ消費生活サービス	その他	> インフラ
連結子会社	東大阪消防PFIサービス(株)	その他	> インフラ
連結子会社	さくらんぼ東根学校PFIサービス(株)	その他	> インフラ
連結子会社	盛岡地区消防PFIサービス(株)	その他	> インフラ
連結子会社	エネシーベース鹿児島(株)	その他	> インフラ
連結子会社	さきたまプールPFIサービス(株)	その他	> インフラ
持分法適用関連会社	(株)光邦	その他	> その他
持分法適用関連会社	東洋建設(株)	その他	> その他
持分法適用関連会社	光が丘興産(株)	その他	> その他

三井住友建設グループ会社

会社分類	社名	現セグメント	新セグメント
親会社	三井住友建設(株)	土木	> 土木
		建築	> 建築
		太陽光発電	> 土木
連結子会社	三井住建道路(株)	土木	> 舗装
		太陽光発電	> 舗装
連結子会社	三井住友建設鉄構エンジニアリング(株)	土木	> 土木
連結子会社	ドーピー建設工業(株)	土木	> 土木
連結子会社	(株)SMCR	建築	> 建築
連結子会社	SMCプレコンクリート(株)	土木・建築	> 土木・建築
連結子会社	SMC商事(株)	土木	> 土木
		建築	> 建築
		保険代理店	> その他
連結子会社	SMCテック(株)	土木・建築	> 土木・建築
連結子会社	SMCCフィリピンズ	土木・建築	> 土木・建築
連結子会社	SMCCマレーシア	土木・建築	> 土木・建築
連結子会社	台湾三住建股份有限公司	その他	> その他

7-1. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移（通期）【前田建設】

- 建築の受注高は堅調に推移し、**受注時利益率は高水準**を維持。期末での手持工事高は前年同様**高水準**を見込む
- 土木の受注高は堅調に推移し、**受注時利益率も高水準**を維持。期末での手持工事高は直近3年で**最高額**を見込む

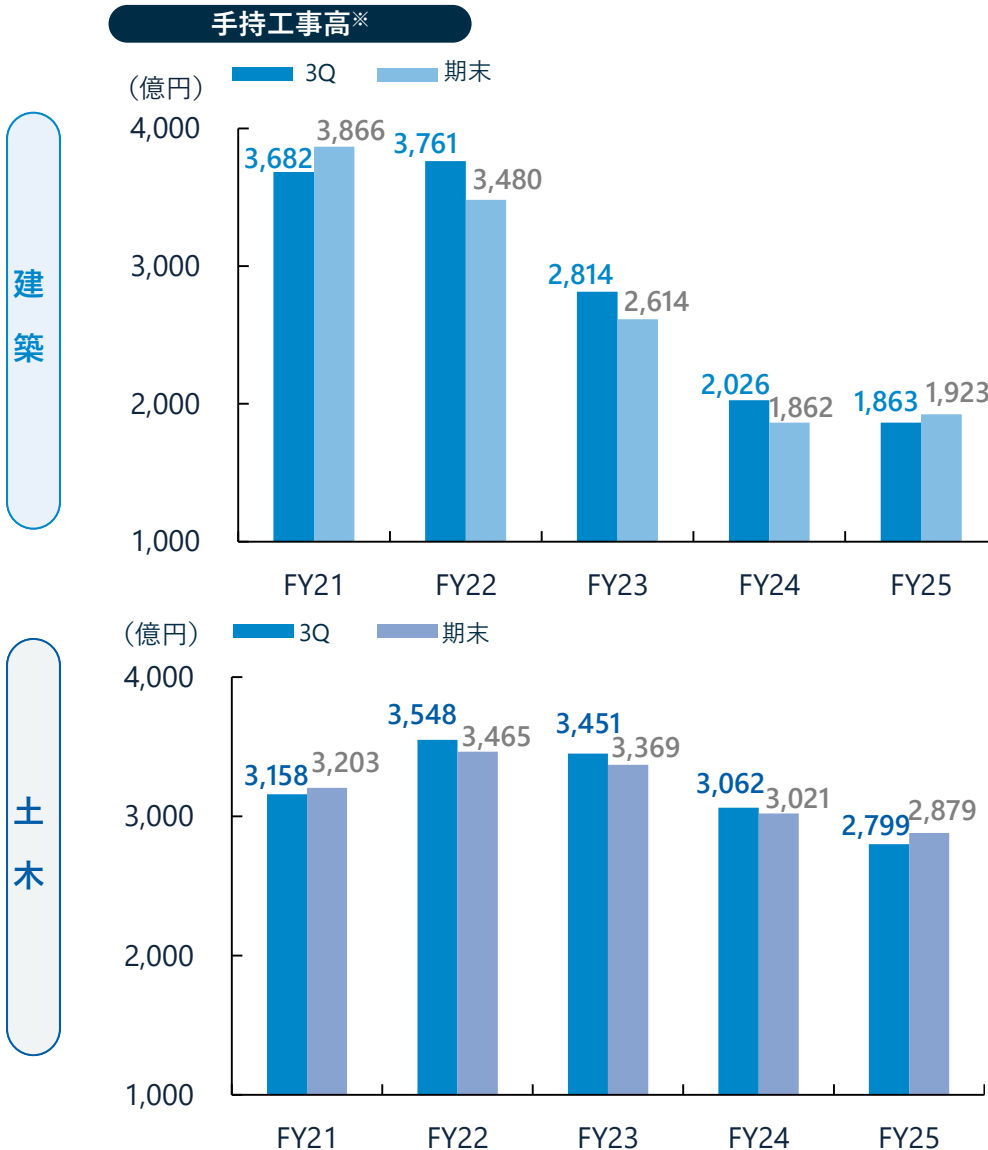


※前田建設の業績数値

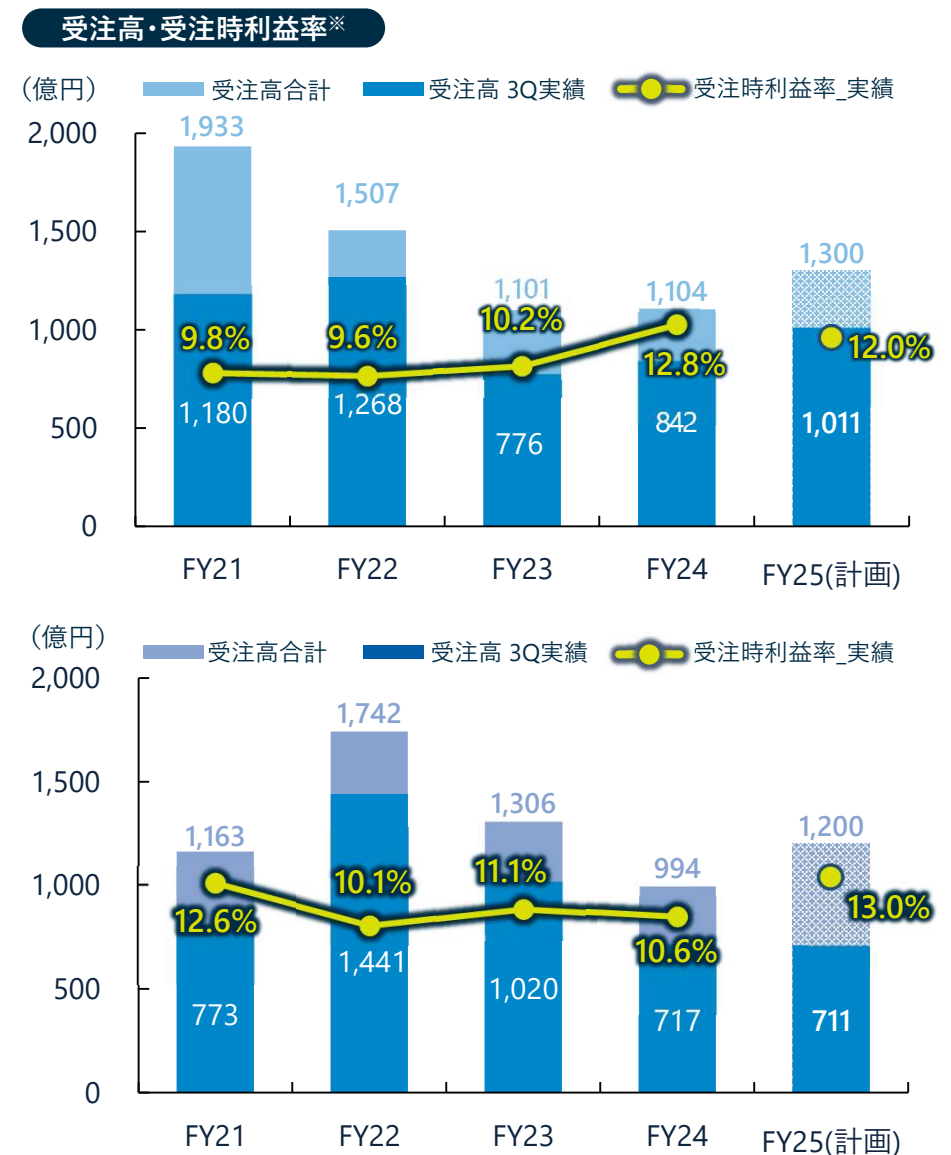
7-2. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移（通期）【三井住友建設】

11

- 建築の受注高は堅調に推移し、**受注時利益率は高水準**を維持。期末での受注時利益率は12.0%を見込む
- 土木の受注高は前年同期並みに推移。**受注時利益率は高水準**を維持、前年を上回る見込み



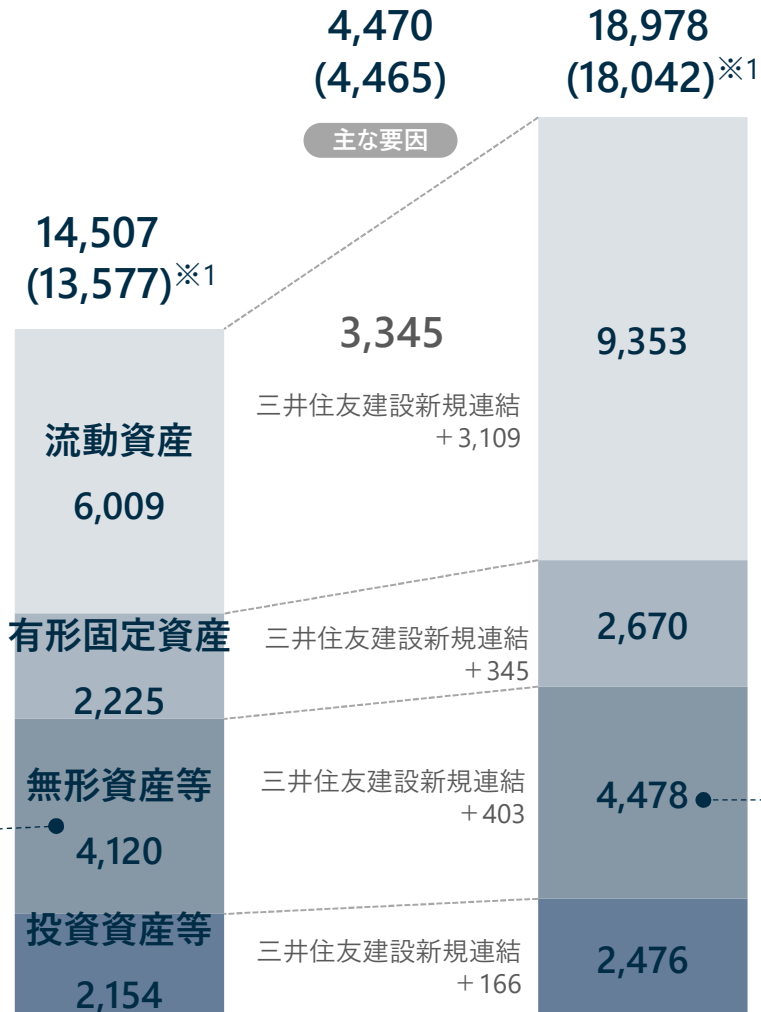
※三井住友建設単体の業績数値



8. 連結貸借対照表の主な増減の要因

資産

(億円)



FY24

FY25 3Q

FY24 4Q時点

ROA 2.3%
(2.4%)^{※1}

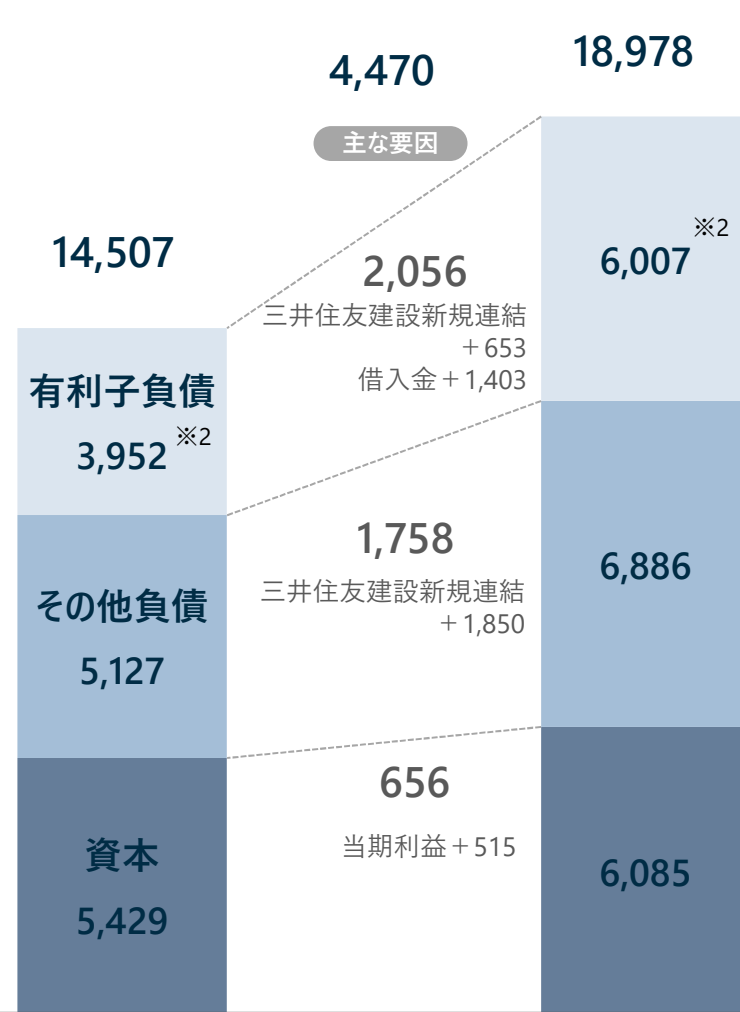


FY25 通期見込み

ROA 3.6%
(3.8%)^{※1}

負債・資本

(億円)



FY24

FY25 3Q

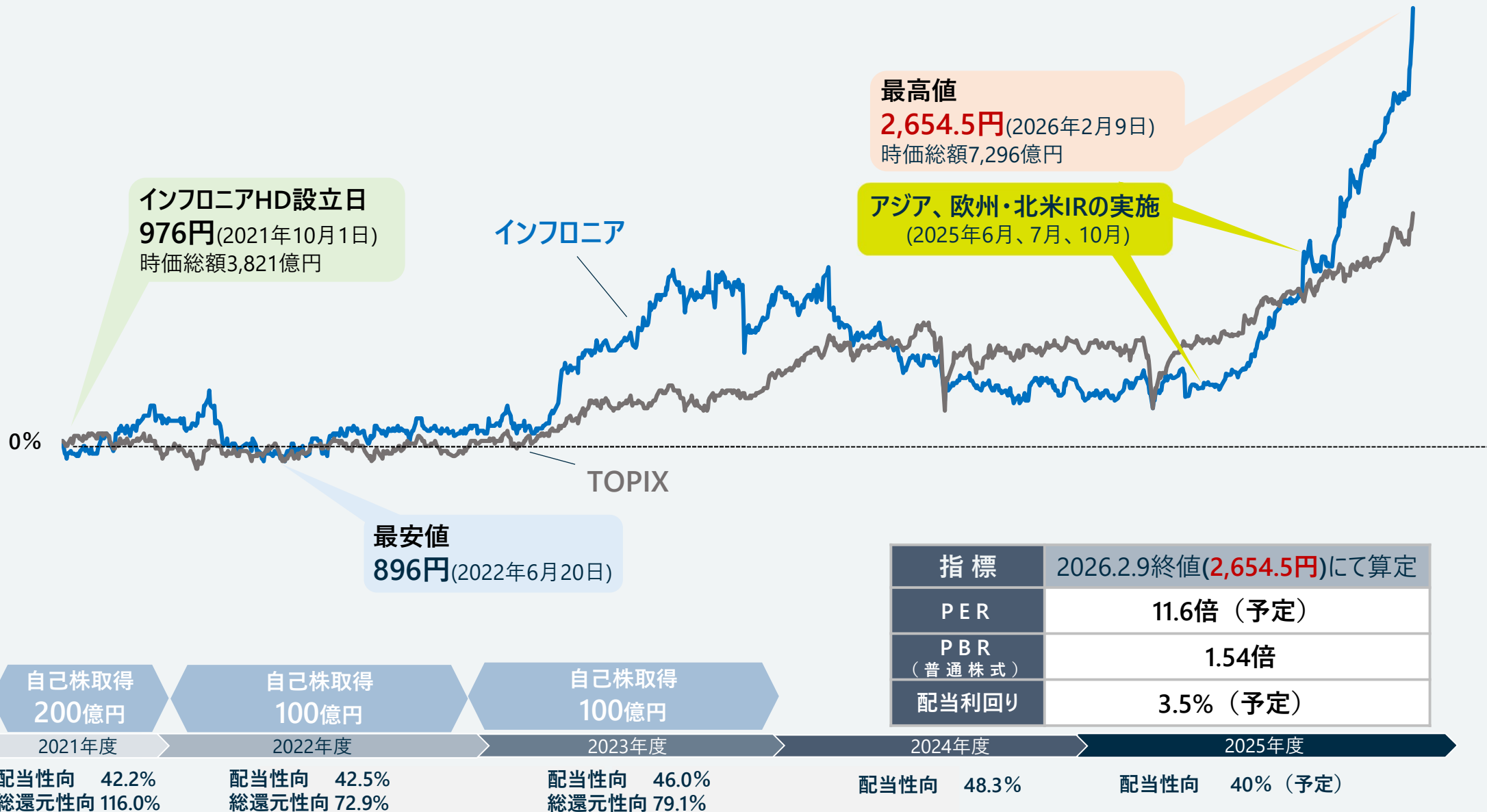
※1 ()・・・公共施設等運営権を除いた数値

※2 有利子負債＝短期借入金、長期借入金、ノンリコース借入金（1年以内返済予定も含む）、社債

※3 公共施設等運営権：コンセッション事業などの数年にわたって公共施設を運営する権利の譲渡を受ける際に支払われる対価

9. 株価の推移（2026年2月9日時点）

- 2026年2月9日にHD設立以来の**株価最高値を更新**
- 中期経営計画に定めた資本戦略の実施および業績目標達成により**資本効率を意識した経営を進める**



※2021年10月1日時点の株価を基準(0%)とした、株価の伸び率を%で表示

10. 社債型種類株式発行による財務指標等への影響

- 社債型種類株式は普通株式とは区別され、PBR算定時の純資産からは除く
- ROE・EPSは、優先配当分が差し引かれる為、普通株主に帰属する当期純利益は減少

(単位のないものは億円)

財務指標	算定式	FY25通期見込
ROE (普通株式)	$\frac{\text{当期純利益} - \text{優先配当}}{\text{自己資本} - \text{社債型種類株式に係る純資産}} \quad (\text{※二期平均})$	$\frac{600 - 26^{\text{※1}}}{((5,191 - 968) + (5,840 - 968))/2} = 12.6\%$
EPS (普通株式)	$\frac{\text{当期純利益} - \text{優先配当}}{\text{発行済株式数 (普通株式)}}$	$\frac{600 - 26^{\text{※1}}}{24,987 \text{万株}} = 229.7 \text{円}$
PBR (普通株式・3Q時点)	$\frac{\text{時価総額 (普通株式)}}{\text{自己資本} - \text{社債型種類株式に係る純資産} - \text{優先配当} - \text{新株予約権 (CB)}^{\text{※4}}}$	$\frac{2654.5 \text{円}^{\text{※2}} \times 27,485 \text{万}^{\text{※3}}}{5,759 - 968 - 26^{\text{※1}} - 26^{\text{※4}}} = 1.54 \text{倍}$
D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{自己資本 (種類株式を含む)}}$	$\frac{5,800}{5,840} = 1.0 \text{倍}$

※1 社債型種類株式配当金 26億円

※2 株価は2026.2.9終値にて算定 (2654.5円)

※3 自己株式を含む

※4 2024年3月に発行したユー・ロ円建転換社債型新株予約権付社債 (グリーンCB) に関する新株予約権

Appendix

前田建設（個別）
三井住友建設

建 築

前田建設（個別）
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

機 械

セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

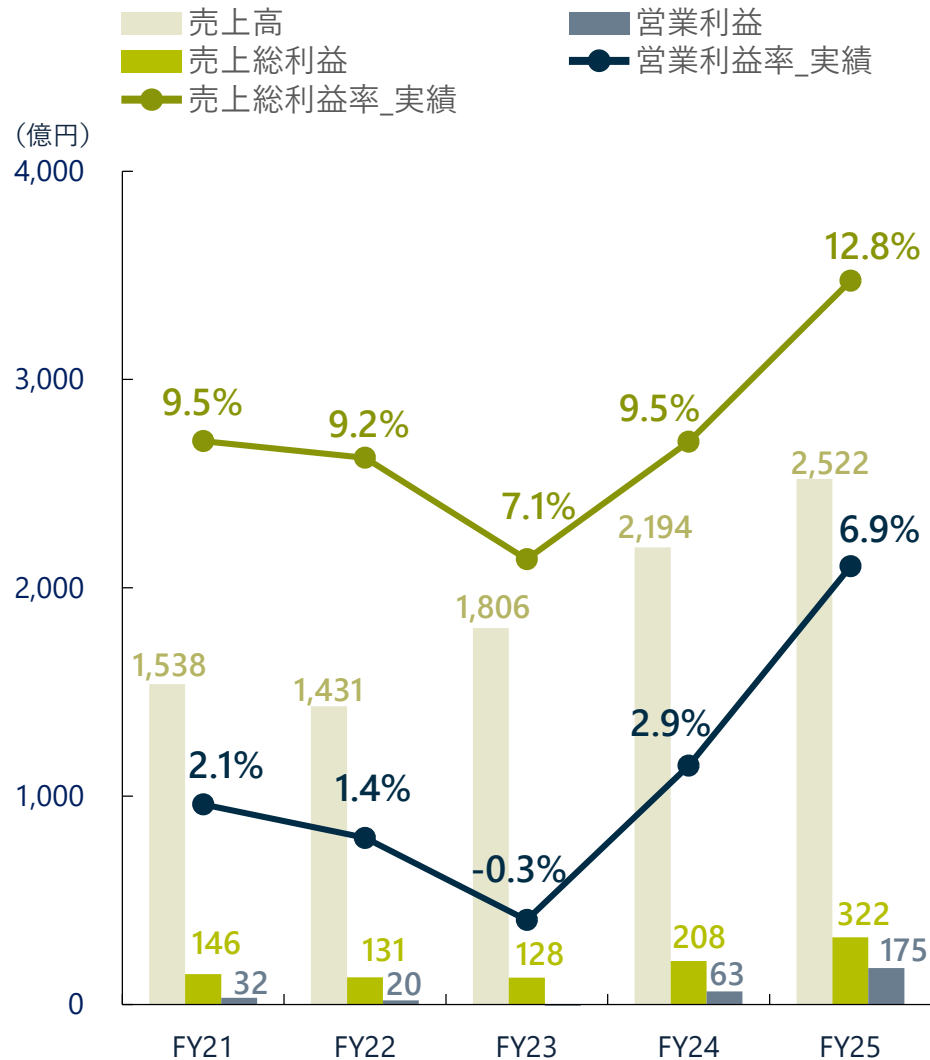
前田製作所（連結）

機 械

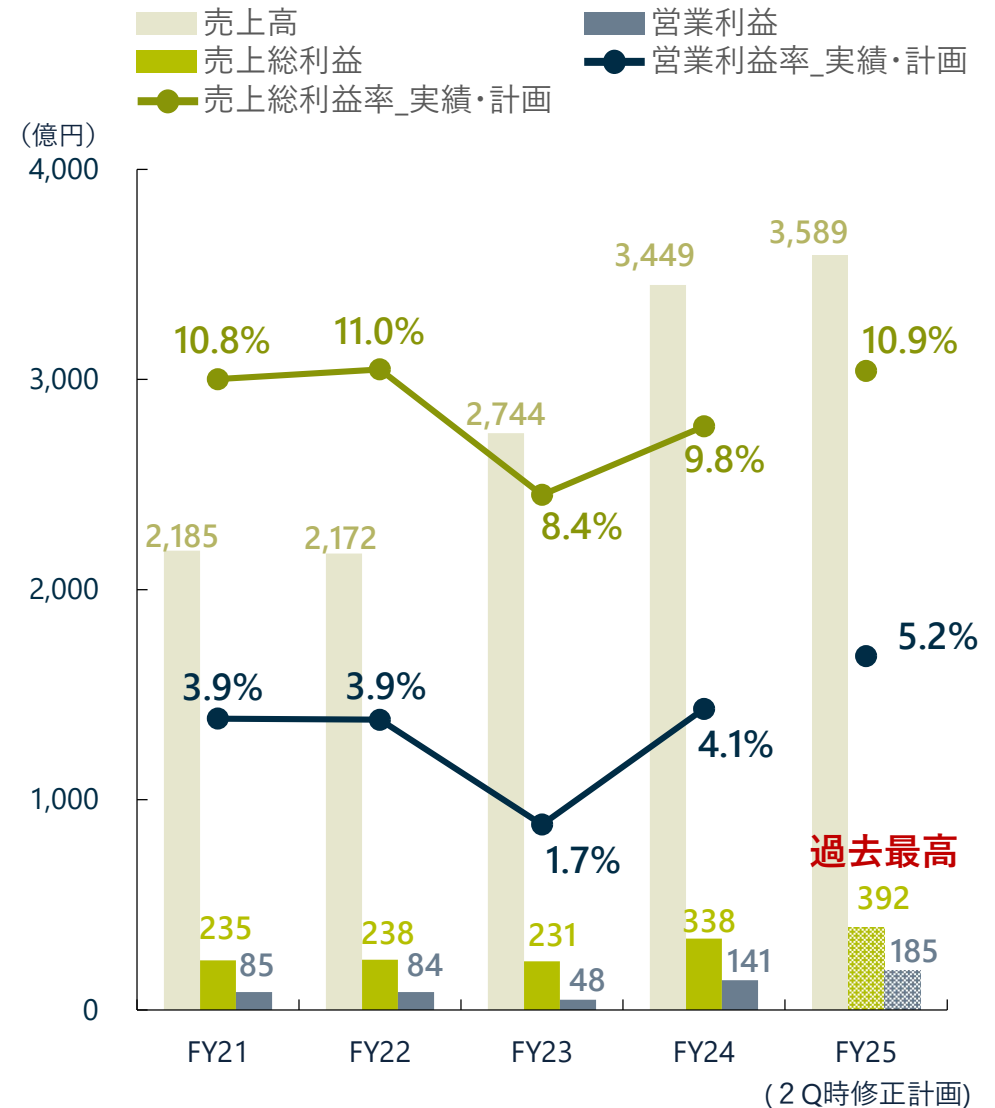
1-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 3Q 採算性が良い手持工事の順調な進捗により、前年同期比**増収増益**
- FY25計画 手持工事の順調な消化と新規受注工事の進捗により、売上高・利益ともに**修正後の通期計画を達成見込み**

第3四半期



通 期

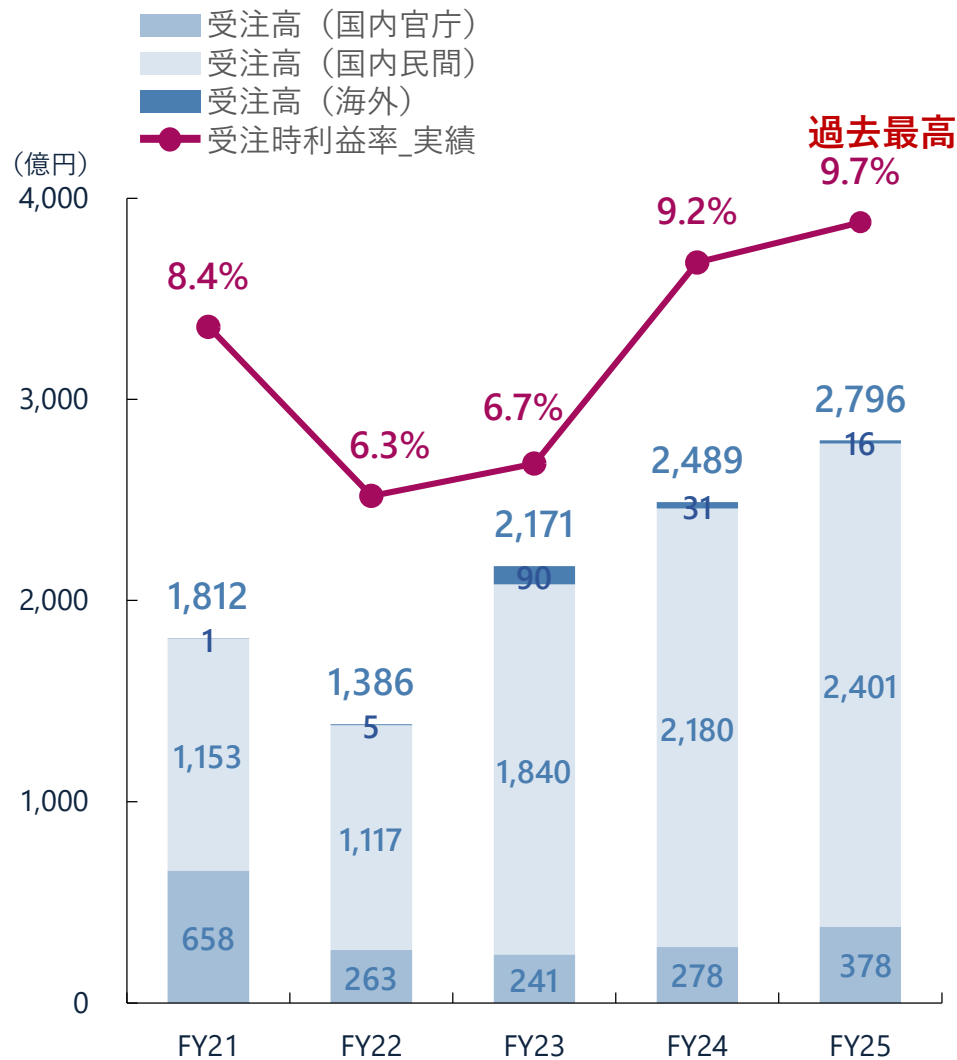


※海外の主要現地法人の売上高、売上総利益はインフラ・ホールディングス 建築セグメントに含まれる

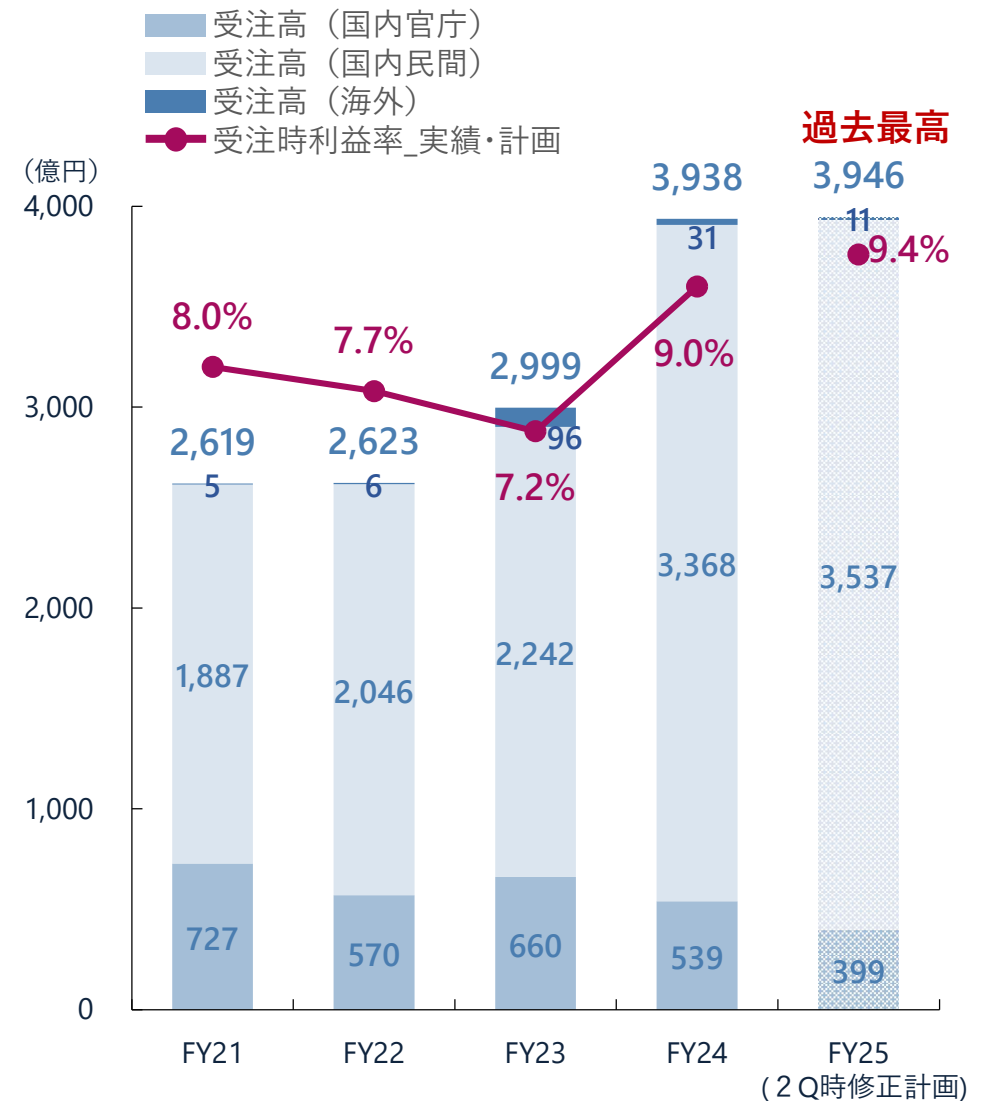
1-2. 受注高と受注時利益率の推移

- FY25 3Q 計画通りに受注できており、受注時利益率も9.7%と**過去最高水準**を達成
- FY25計画 修正後の通期計画の達成を見込む。また、**受注高・受注時利益率共に過去最高を更新する見込み**

第3四半期



通 期

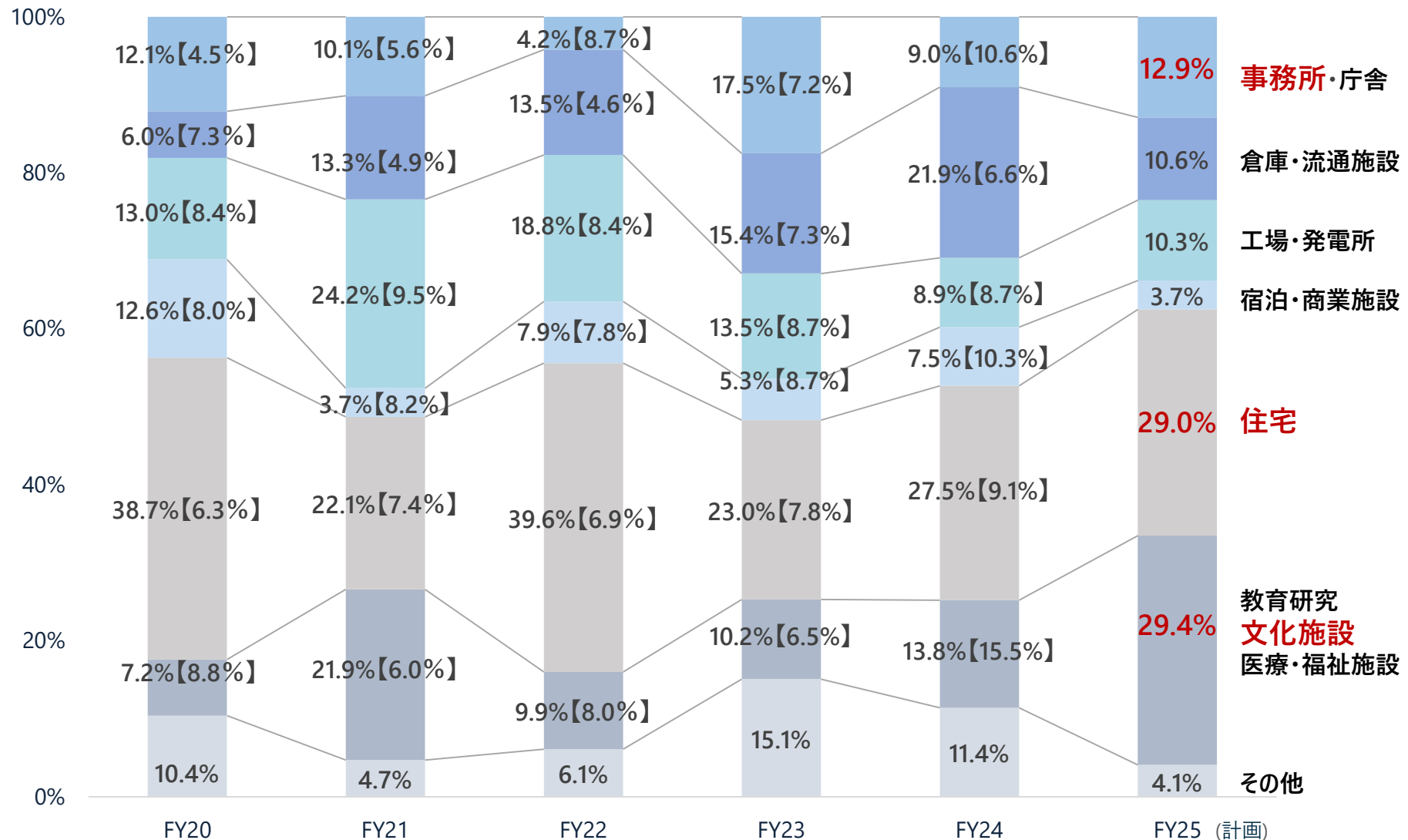


1-3. 建物用途別 受注比率の推移

19

- 大型案件受注により「住宅」、「文化施設」、「事務所」の受注比率が高まる見通し

【 】の中は、受注時利益率の実績

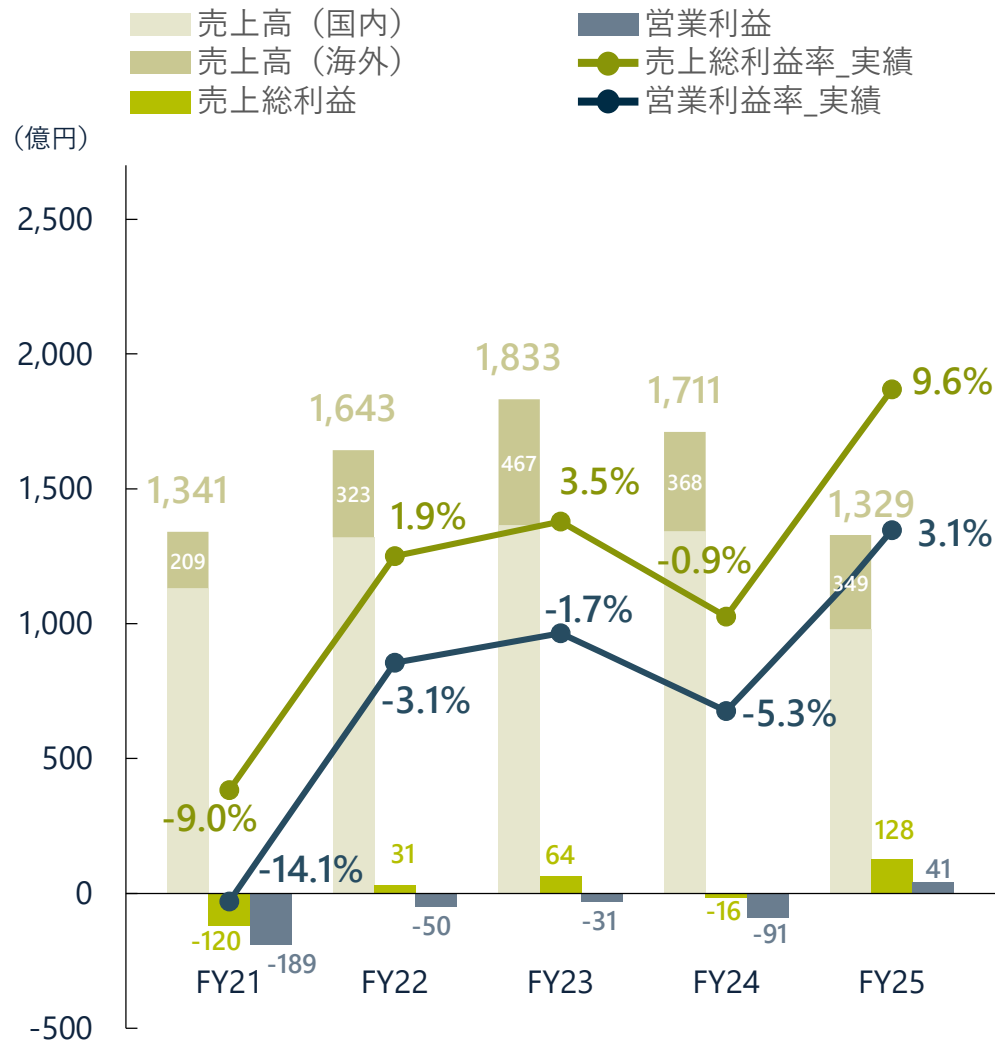
建
築十
木イ
ン
フ
ラ
M
Kイ
ン
フ
ラ
J
W
D舗
装機
械

1-4. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

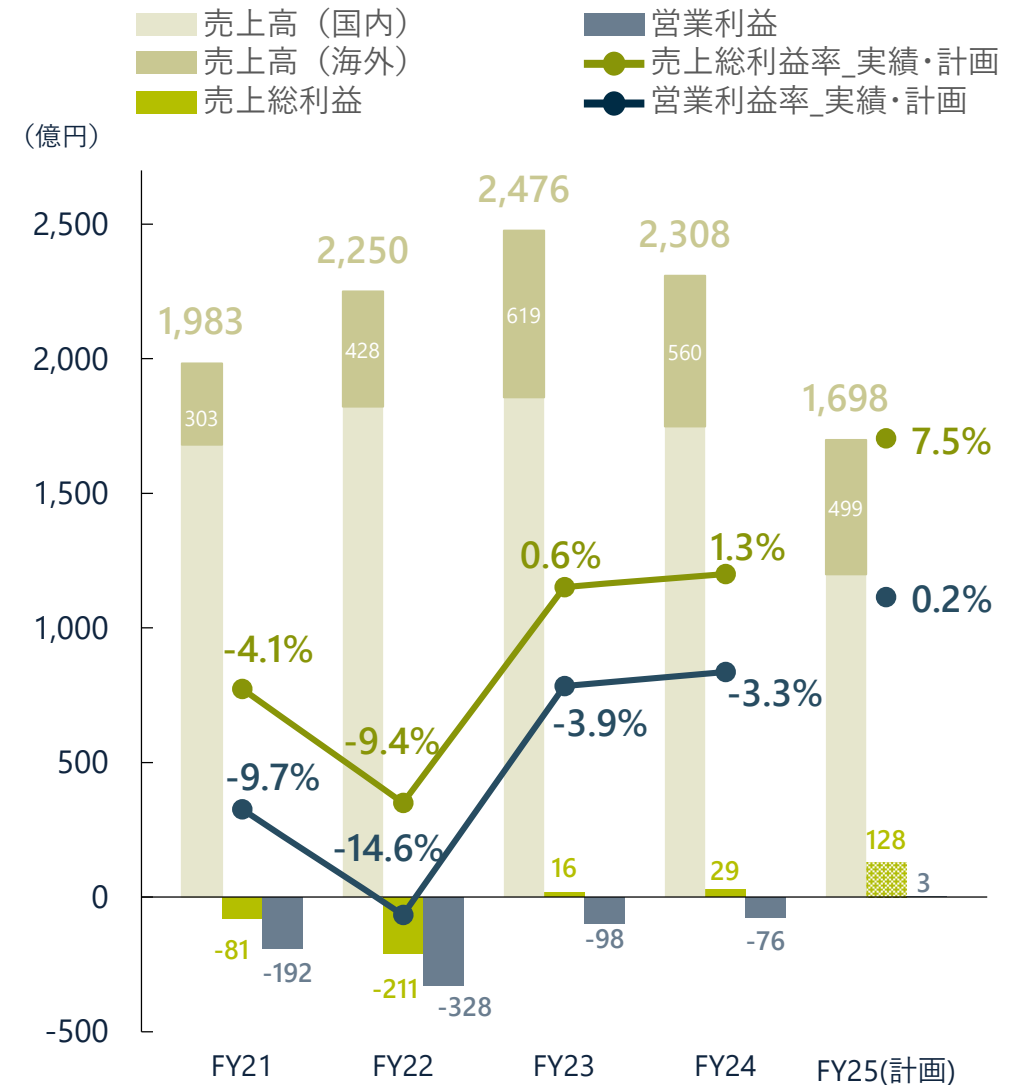
20

- FY25 3Q 繰越高の減少により、売上高は前年同期比で大幅減収。国内大型建築工事の損失影響がなくなり前年同期比増益
- FY25計画 売上高は概ね計画通り。利益は計画を上回る水準で進捗しており、期首計画値は達成できる見込み

第3四半期



通 期



※売上高（海外）は、三井住友建設個別における海外売上高と海外現法における売上高の合算

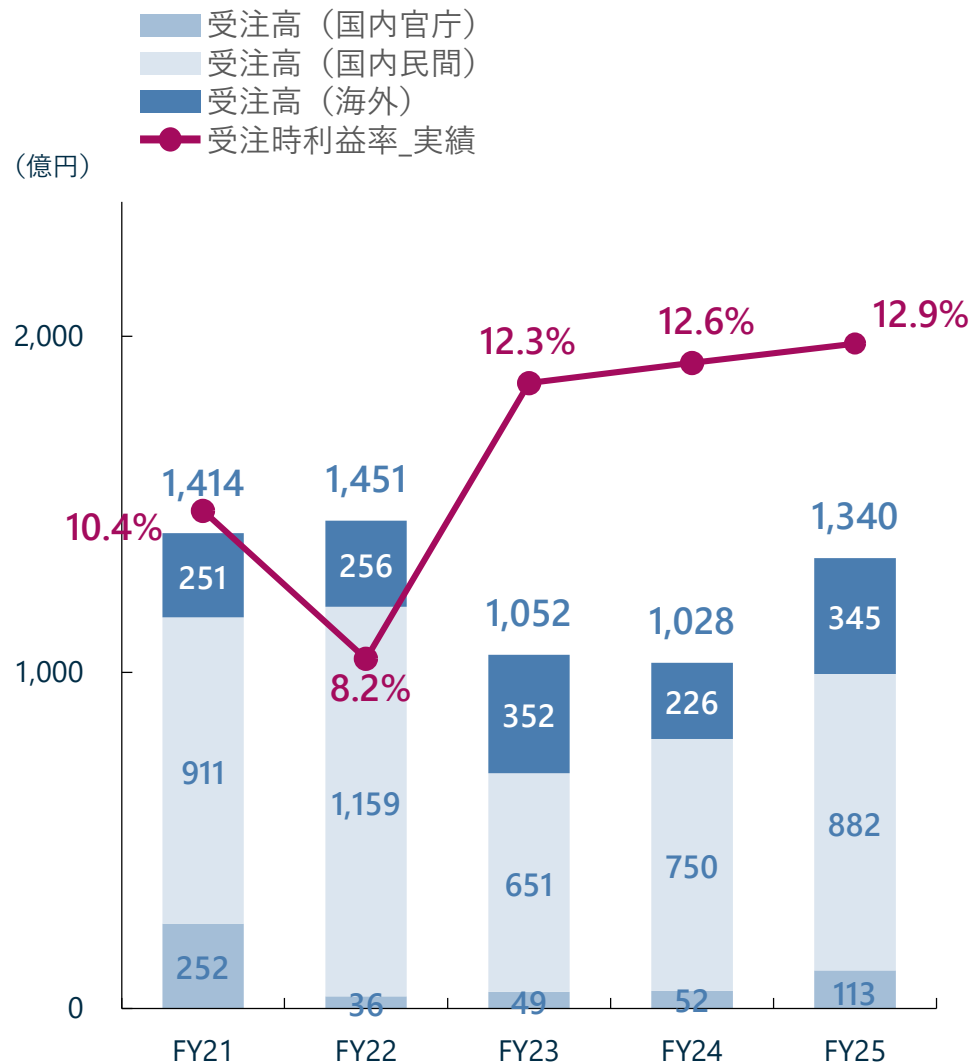
建
築土
木イン
フラ
M
Kイン
フラ
J
W
D舗
装機
械

1-5. 受注高と受注時利益率の推移

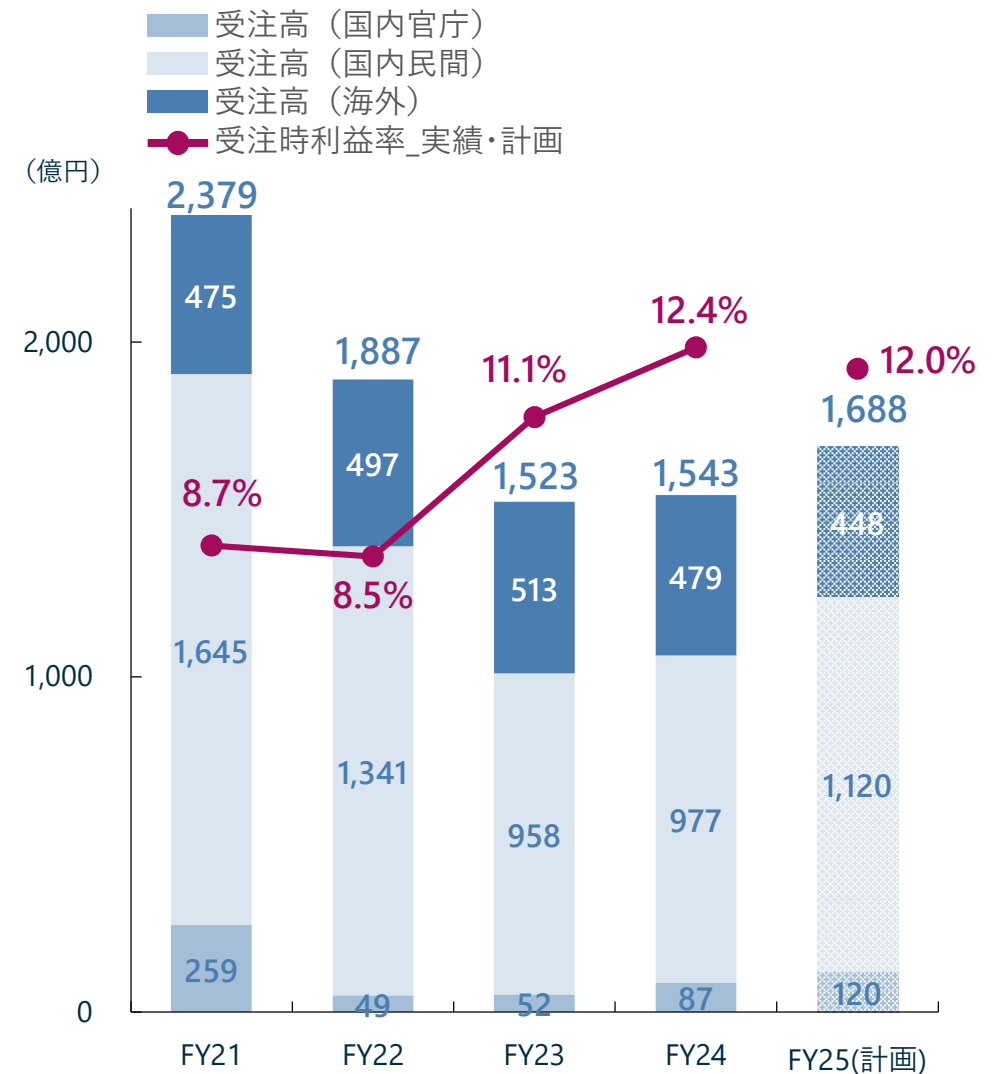
21

- FY25 3Q 受注高は、期首計画通りに順調に推移している
- FY25計画 受注予定案件の確実な受注により、期首計画は達成の見込み、**受注時利益率は、12.0%程度を見込む**

第3四半期



通 期



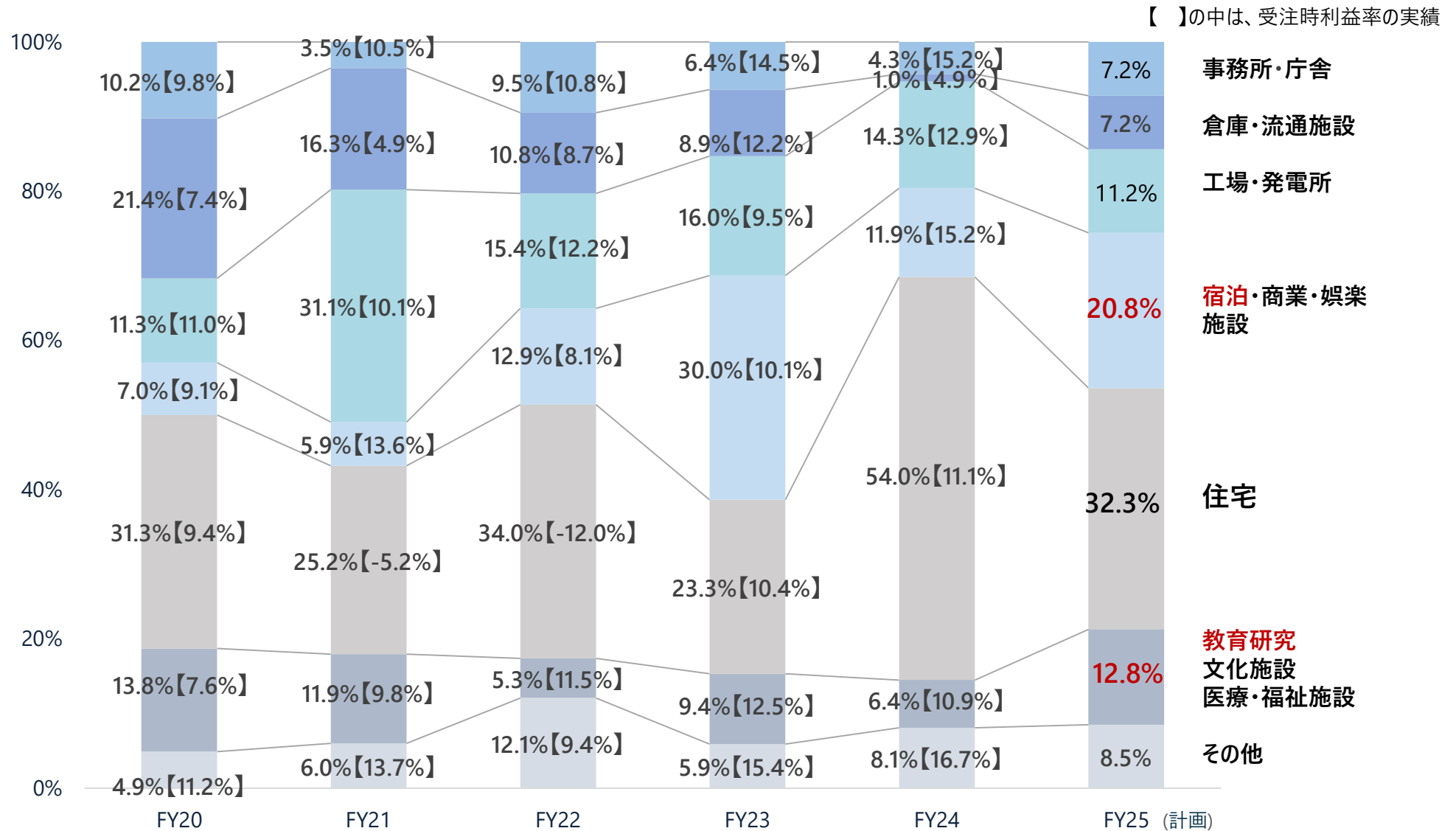
※受注時利益率の実績は三井住友建設単体の実績

建
築土
木イン
フラ
M
Kイン
フラ
J
W
D舗
装機
械

1-6. 建物用途別 受注比率の推移

22

- 例年より「宿泊施設」及び「教育研究施設」の比率が高まる見通し



セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

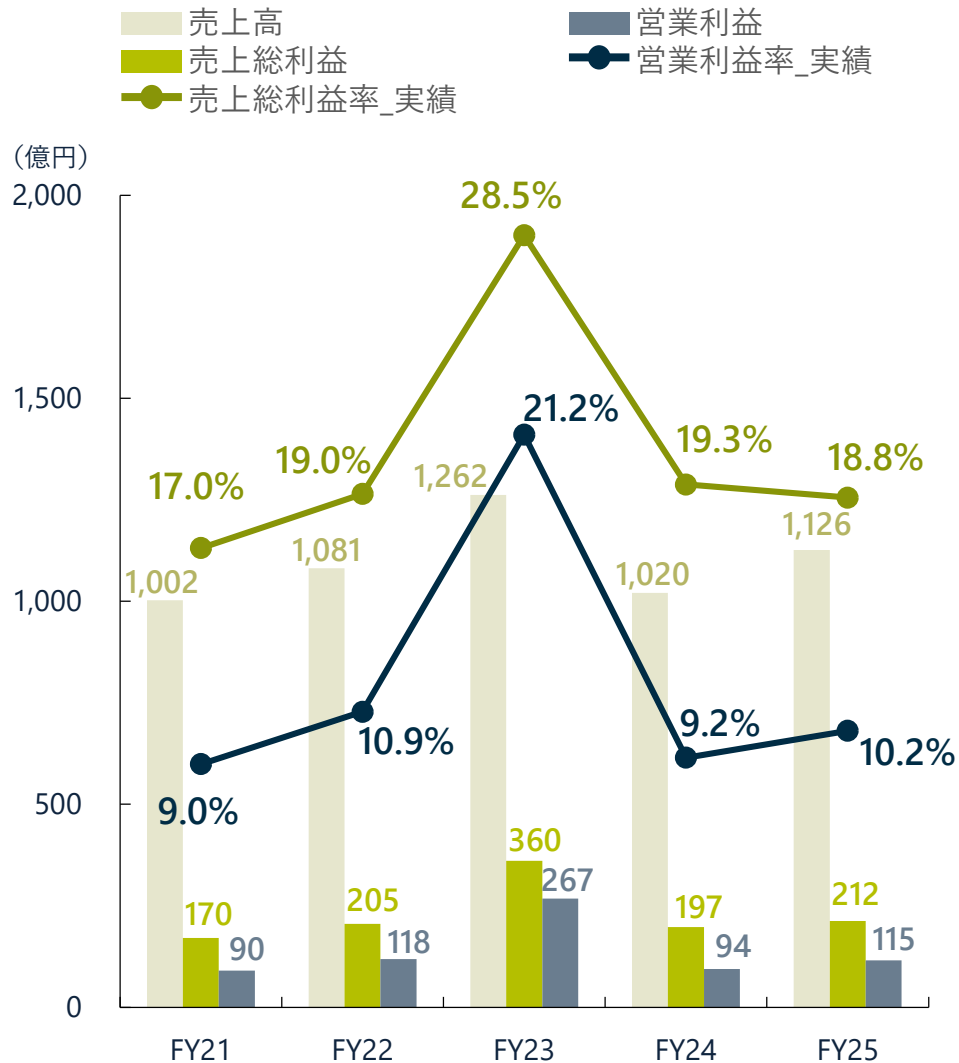
前田製作所（連結）

機 械

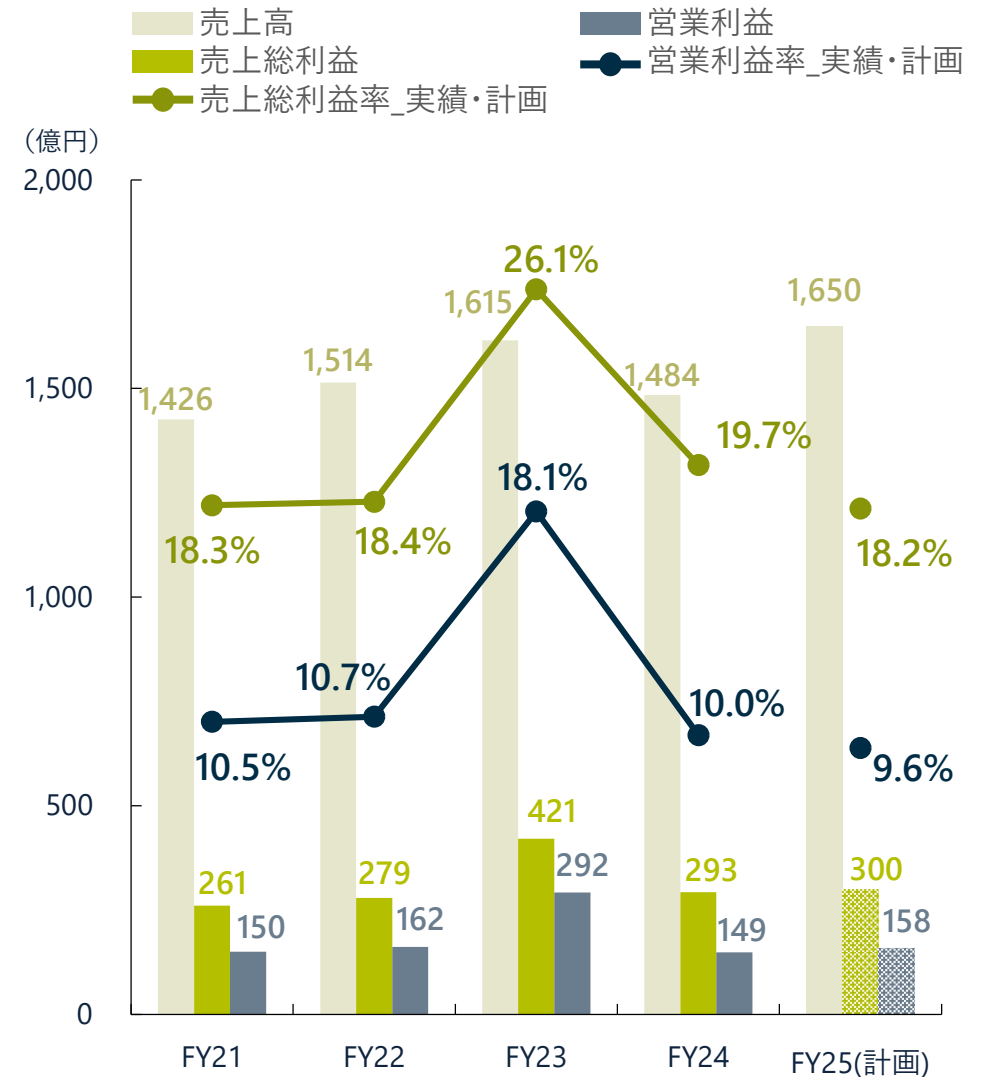
2-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 3Q 期首手持と今期受注工事の順調な推移と今期完成案件の設計変更獲得により、**前年同期比増収増益**
- FY25通期 重点現場の工事進捗及び設計変更獲得額の向上が進み、**通期計画達成を見込む**

第3四半期



通 期

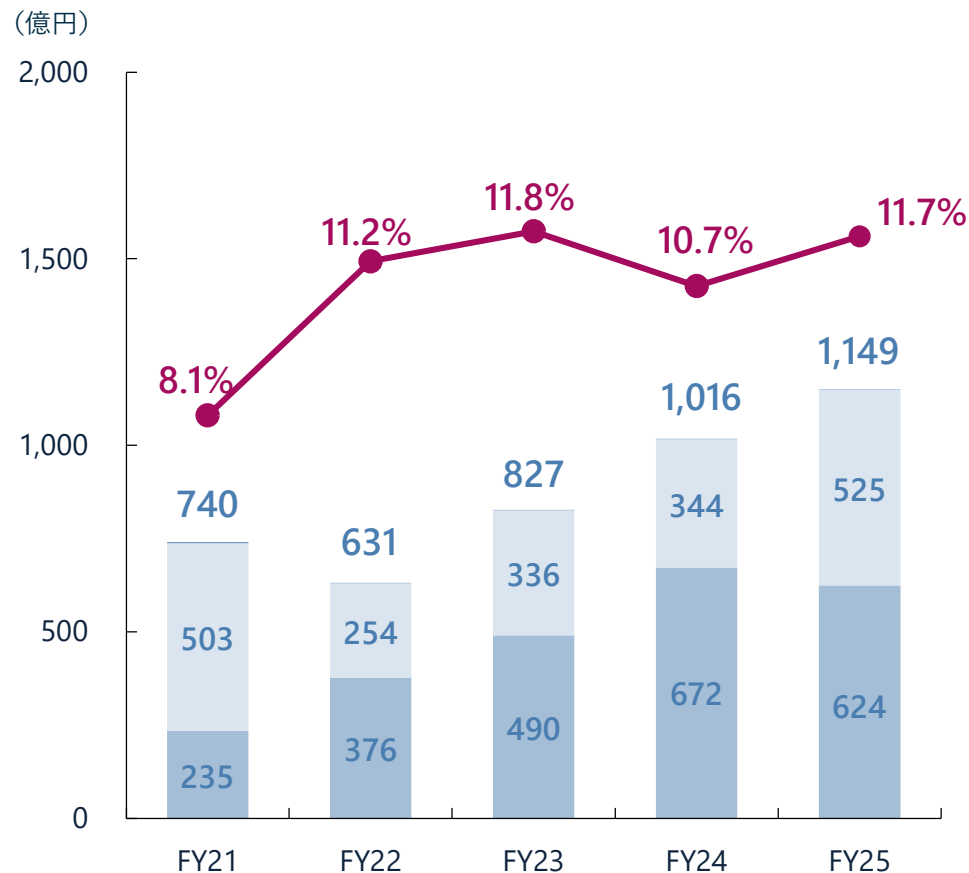


2-2. 受注高と受注時利益率の推移

- FY25 3Q 官民共に受注は堅調に進捗。受注高、受注時利益率ともに前年度を上回る
- FY25 通期 第4Qに集中する大型工事の受注と更なる設計変更の獲得により、**通期計画を達成する見込み**

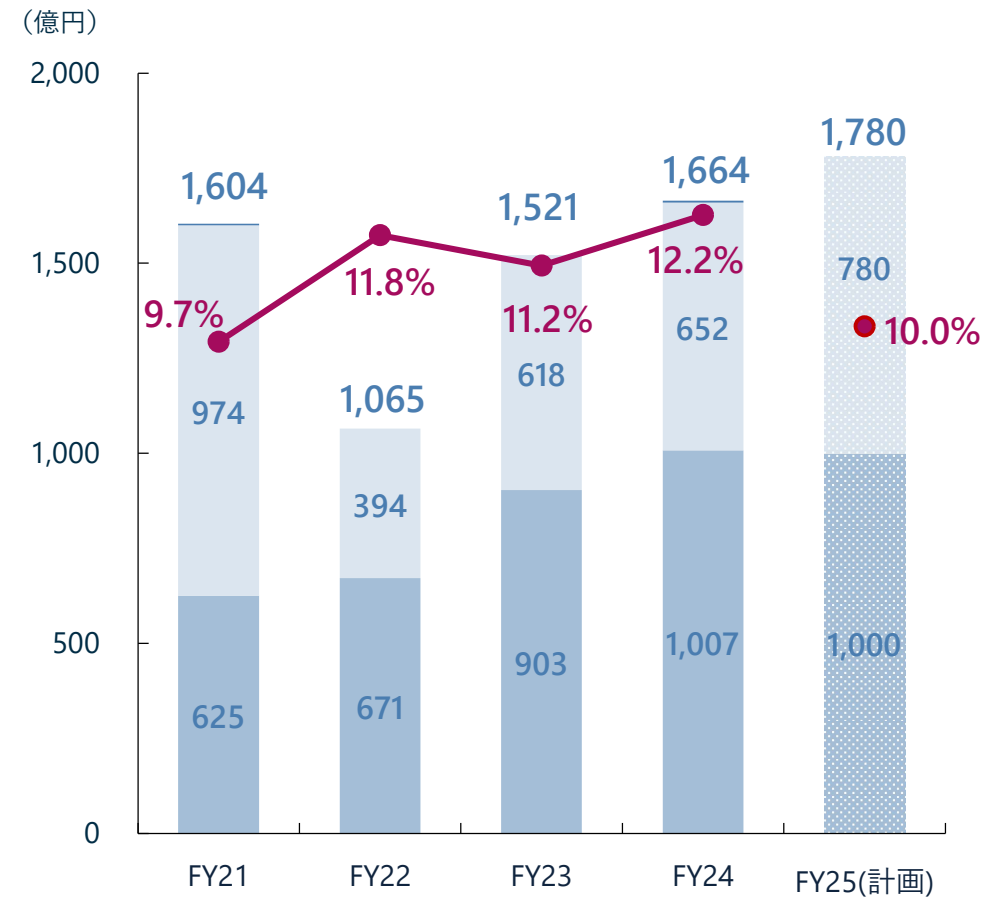
第3四半期

■ 受注高（国内官庁）
 ■ 受注高（国内民間）
 ■ 受注高（海外）
 ● 受注時利益率_実績



通 期

■ 受注高（国内官庁）
 ■ 受注高（国内民間）
 ■ 受注高（海外）
 ● 受注時利益率_実績・計画



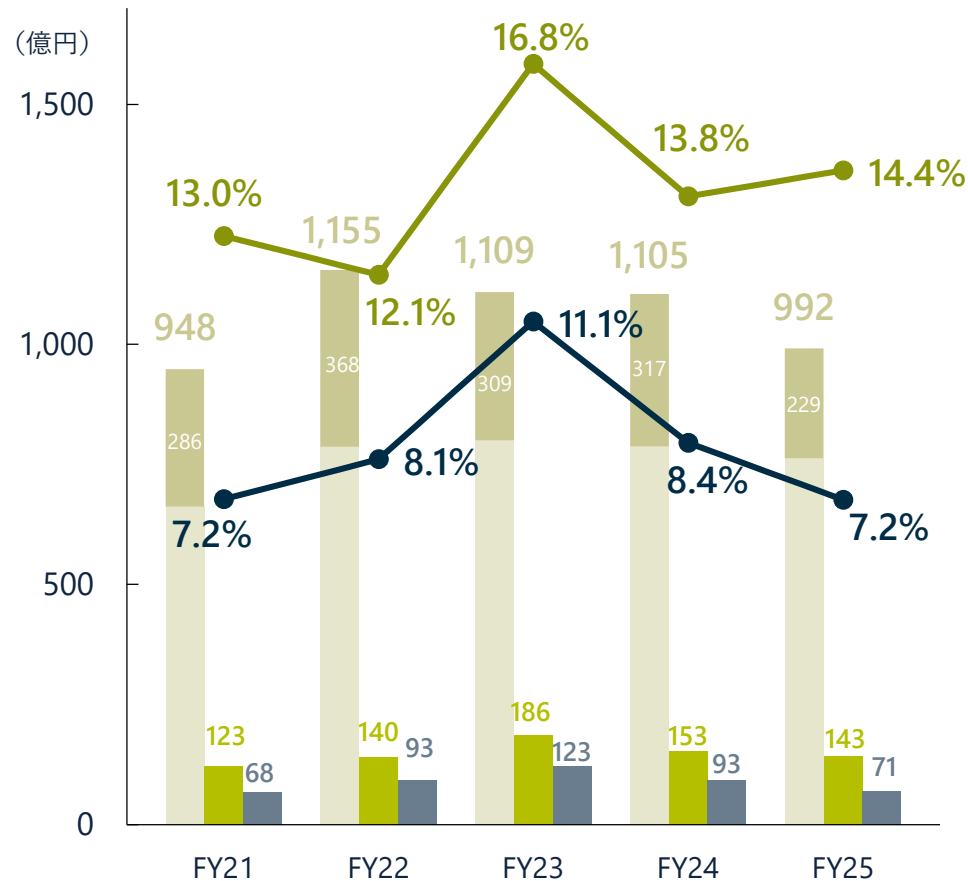
2-3. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

26

- FY25 3Q 昨年同時期に竣工を迎えた海外大型案件の反動で売上高は減少するも、国内大規模更新工事の設計変更獲得により採算は改善
- FY25通期 手持案件の更なる進捗促進と設計変更獲得、ならびに新規案件の早期着手により通期計画達成を目指す

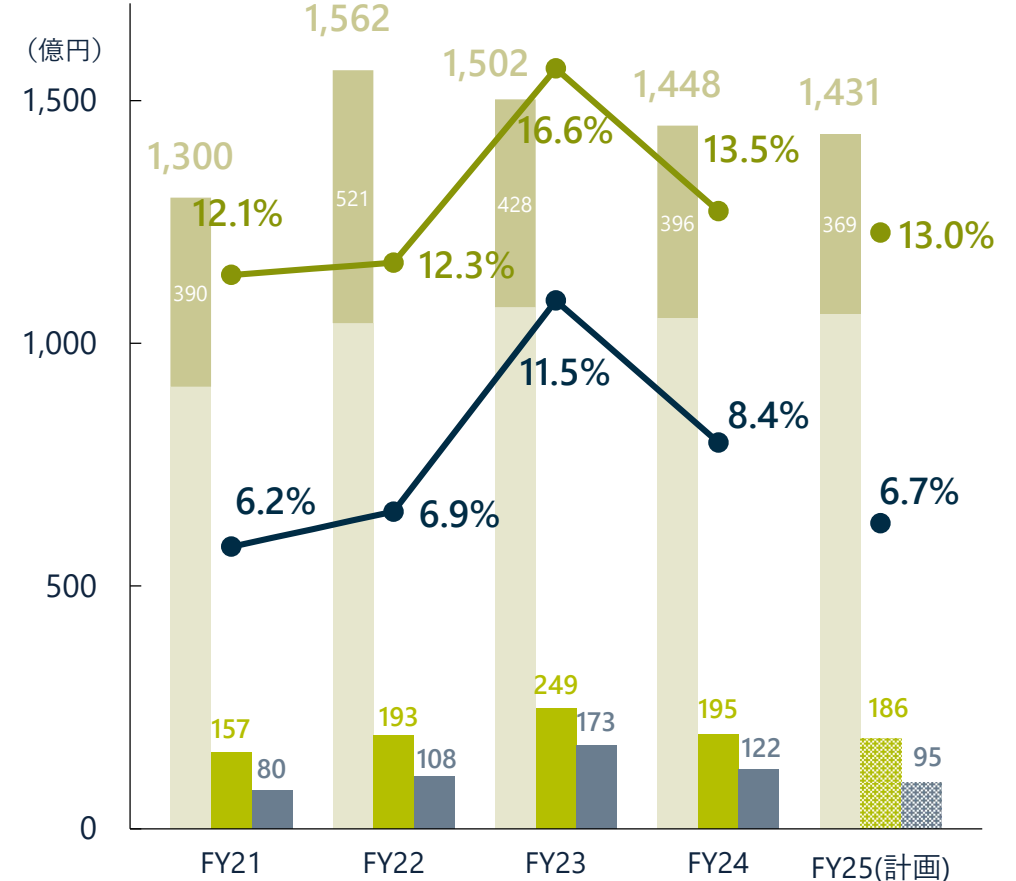
第3四半期

売上高（国内） 営業利益
 売上高（海外） 売上総利益率_実績
 売上総利益 営業利益率_実績



通 期

売上高（国内） 営業利益
 売上高（海外） 売上総利益率_実績・計画
 売上総利益 営業利益率_実績・計画



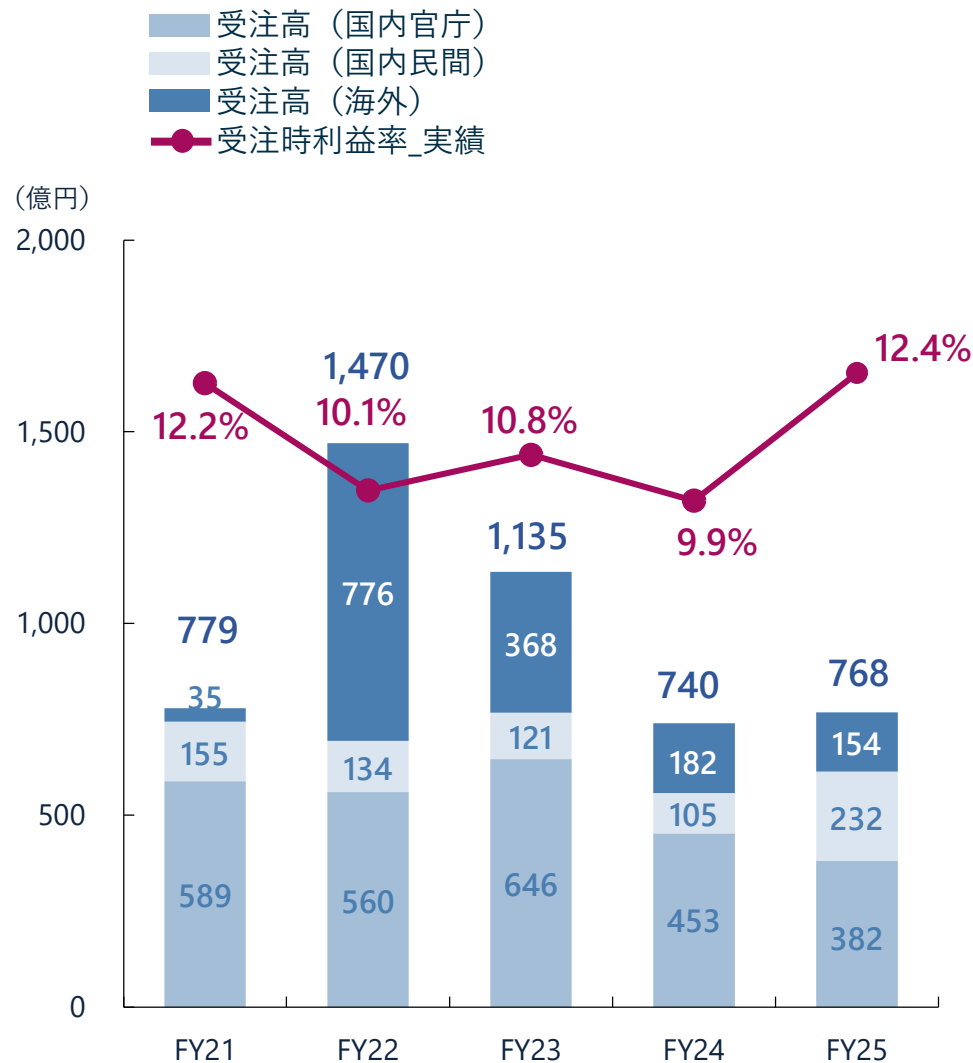
※売上高（海外）は、三井住友建設個別における海外売上高と海外現法における売上高の合算

建
築土
木イ
ン
フ
ラ
M
Kイ
ン
フ
ラ
J
W
D舗
装機
械

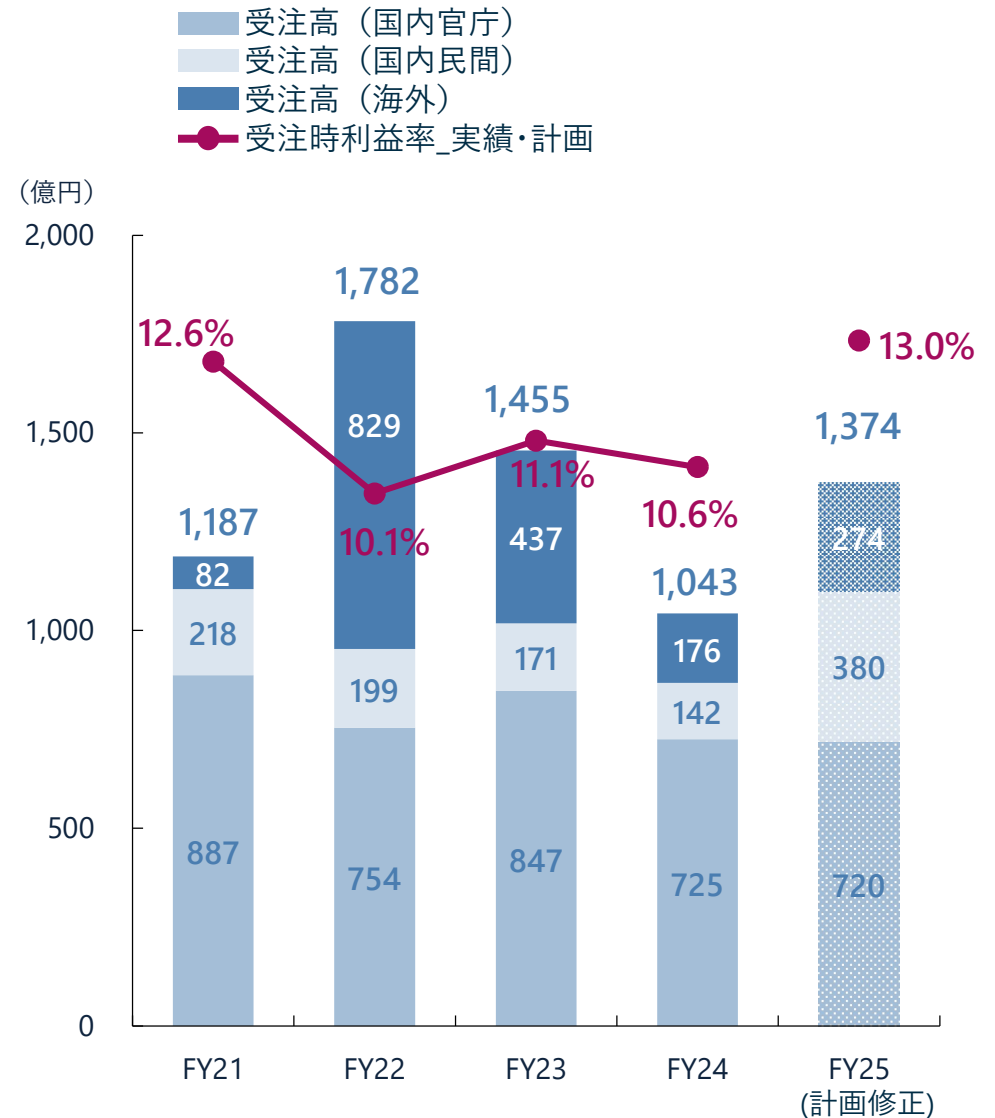
2-4. 受注高と受注時利益率の推移

- FY25 3Q 受注高は前年同期比並に推移。受注時利益率は高水準を維持
- FY25 通期 新規優良案件の獲得により通期計画達成を目指す。受注時利益率は前年を上回る見込み

第3四半期



通 期



※受注時利益率の実績は国内土木工事の実績

セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

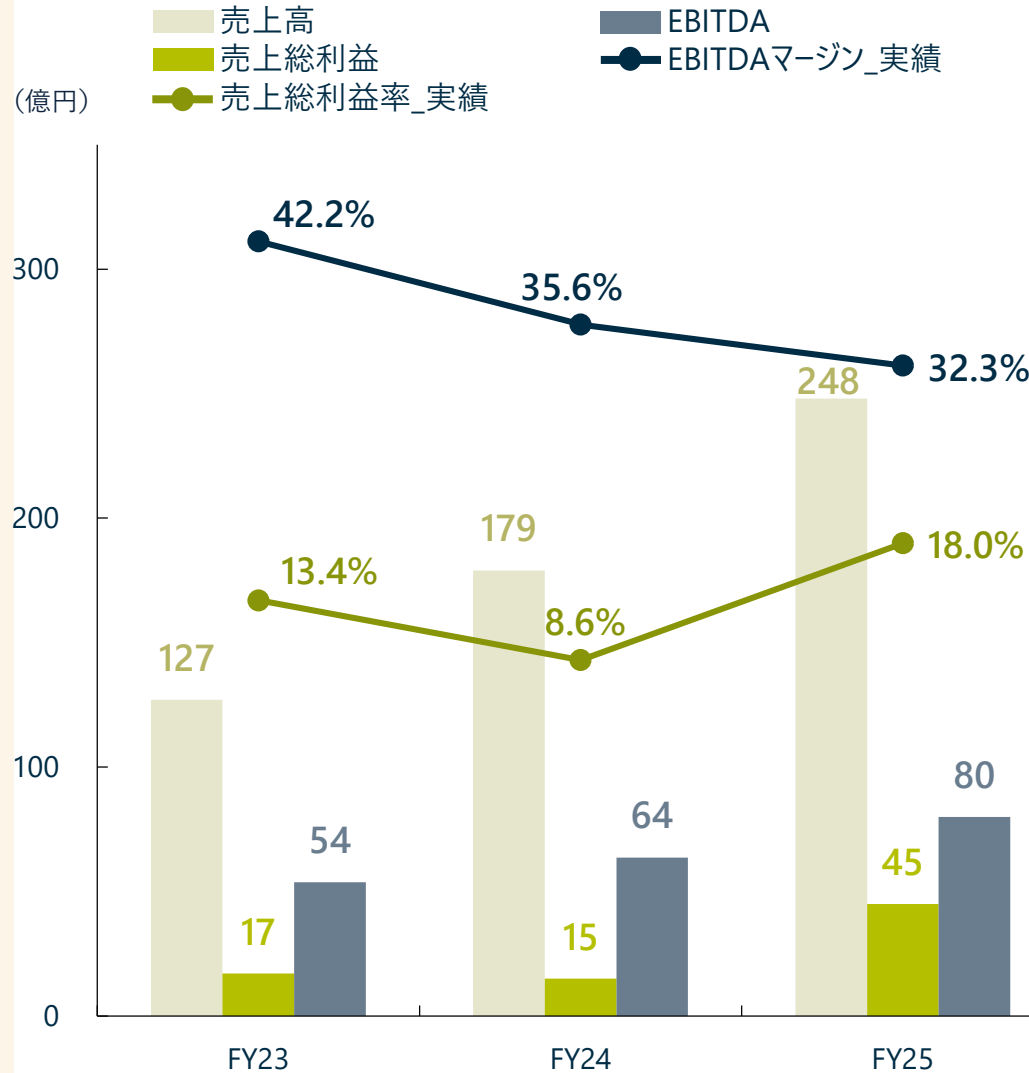
前田製作所（連結）

機 械

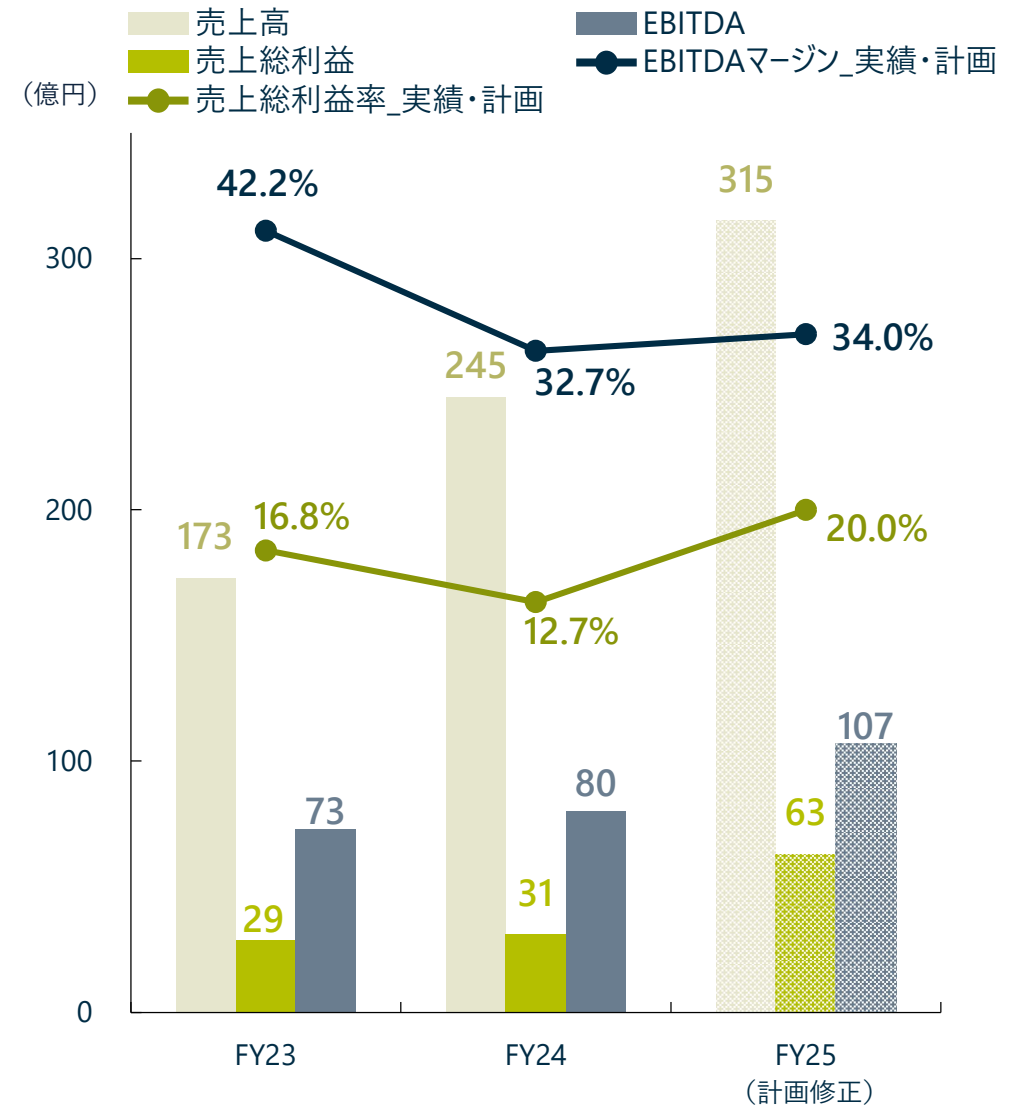
3-1-1. 売上高、売上総利益、EBITDAの推移

- FY25 3Q 愛知道路コンセッション、大阪工業用水コンセッション等のコンセッション事業の堅調な進捗、菰野ヴィラの売却により、前年同期比で増収増益
- FY25 通期 コンセッション事業の順調な進捗、菰野ヴィラの売却により、通期計画達成を見込む

第3四半期



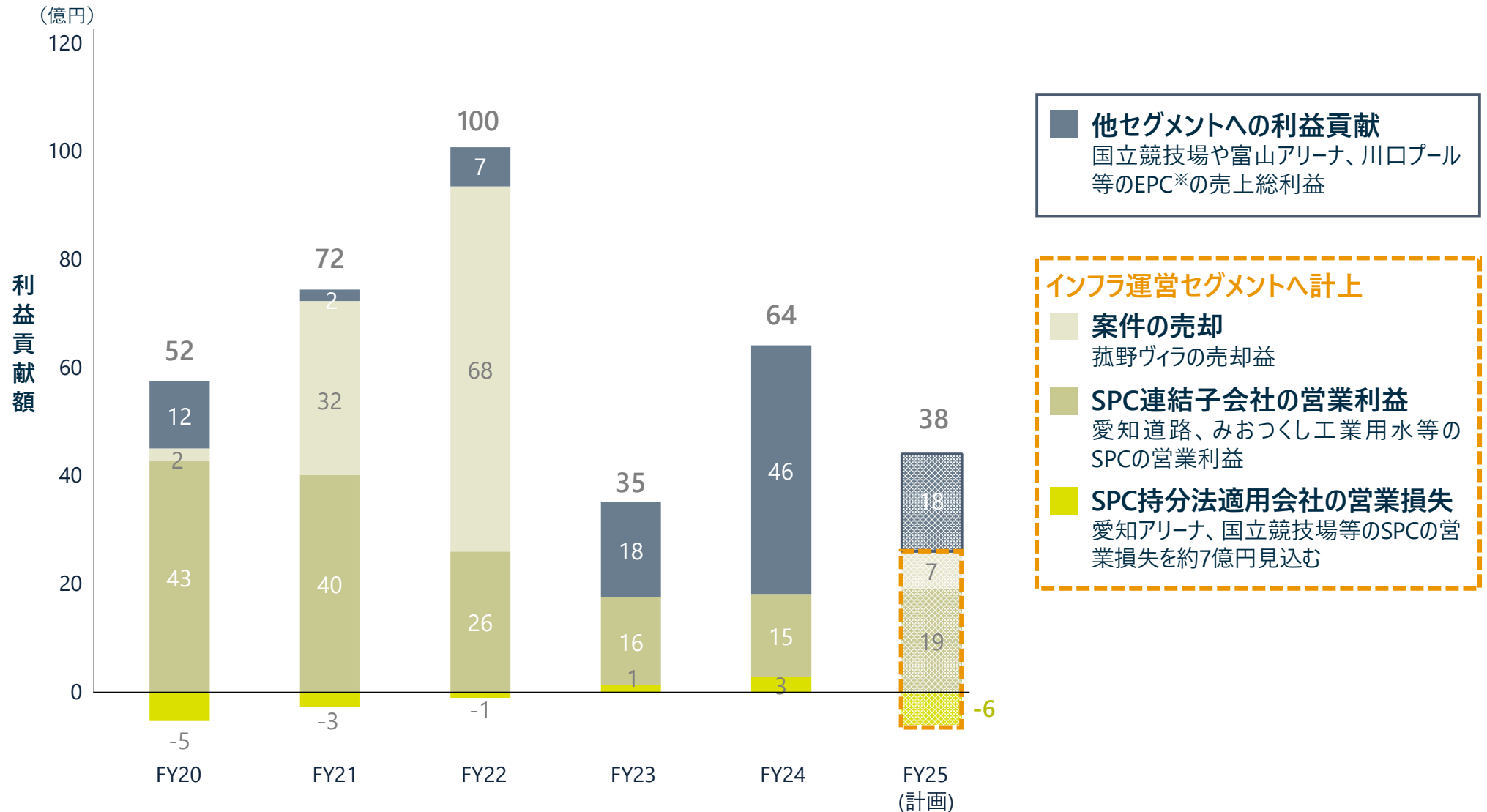
通 期



3-1-2. 利益貢献額について（通期）

30

- FY25 3Q 愛知道路をはじめとした運営中のSPCの営業利益は堅調に推移
- FY25 通期 運転中のSPCの営業利益、菰野ヴィラの売却等により、通期の利益貢献額は約38億円を見込む



3-1-3. 主なグループ会社（インフラ運営）のFY25 3Q実績と通期計画

31

(百万円)

連結子会社 (インフラ運営セグメント)	愛知道路コンセッション(株) ※1			みおつくし工業用水コンセッション(株) ※1			三浦下水道コンセッション(株) ※1		
	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画
売上高	11,763	11,948	15,809	1,218	1,164	1,575	154	146	213
営業利益	1,162	797	2,256	152	131	96	28	26	25
経常利益	338	15	1,224	142	122	85	24	22	18
当期純利益	308	△6	1,121	89	86	58	15	16	12

持分法 適用会社	仙台国際空港(株) ※2			愛知国際展示場(株) ※3		
	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画
売上高	3,492	3,778	4,962	1,193	1,412	1,577
営業利益	376	365	323	442	554	464
経常利益	379	373	330	449	576	470
当期純利益	404	400	403	282	388	316

※1 日本基準・単体

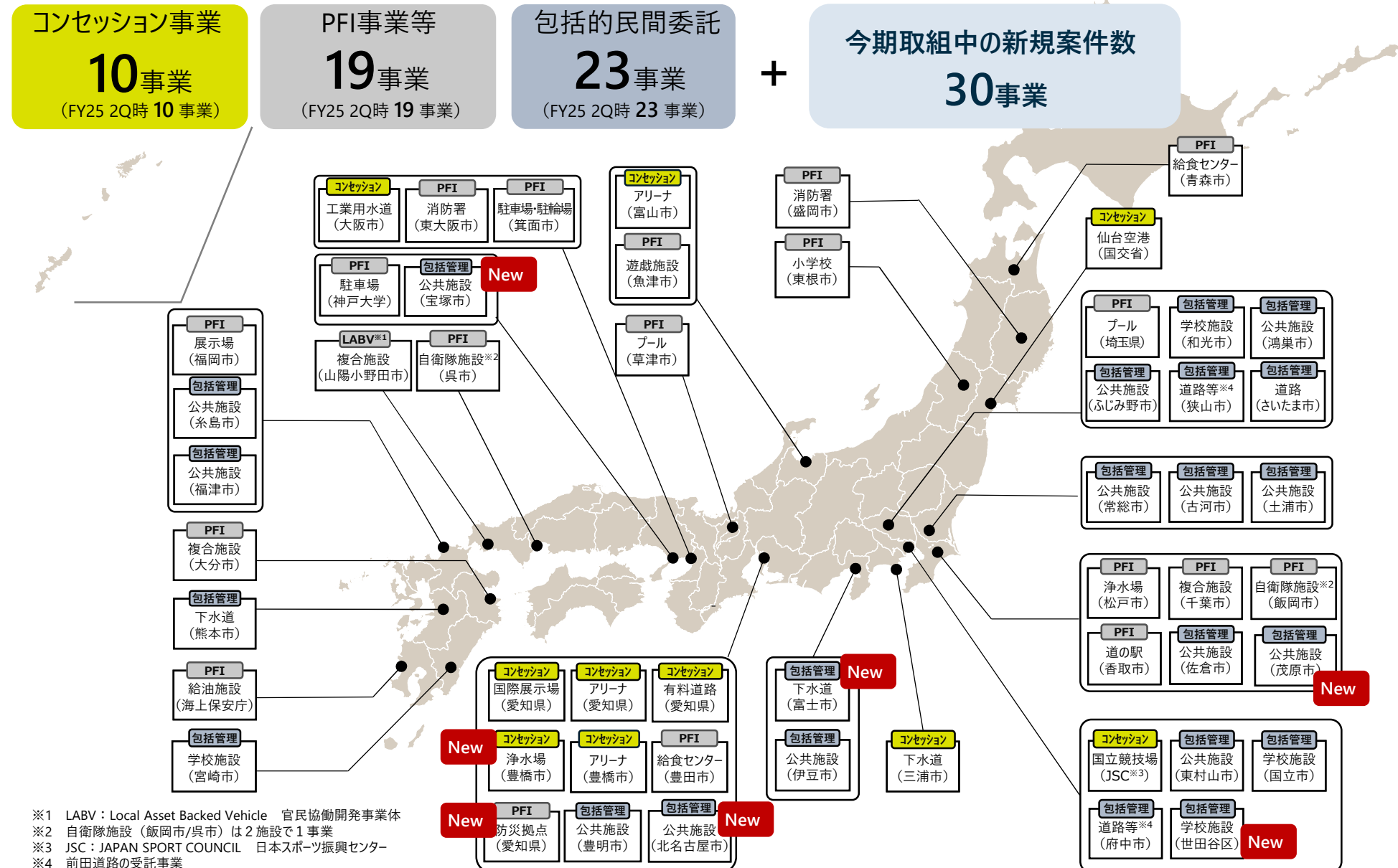
※2 日本基準・単体、当社出資持分：30%

※3 日本基準・単体、当社出資持分：49%

建
築土
木イン
フラ
M
Kイン
フラ
J
W
D舗
装機
械

3-1-4. 国内の主なインフラ運営事業

- 様々なインフラサービスにおける確かな実績
- 実績に裏付けされた豊富な運営ノウハウを今後の案件獲得に活かす



セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

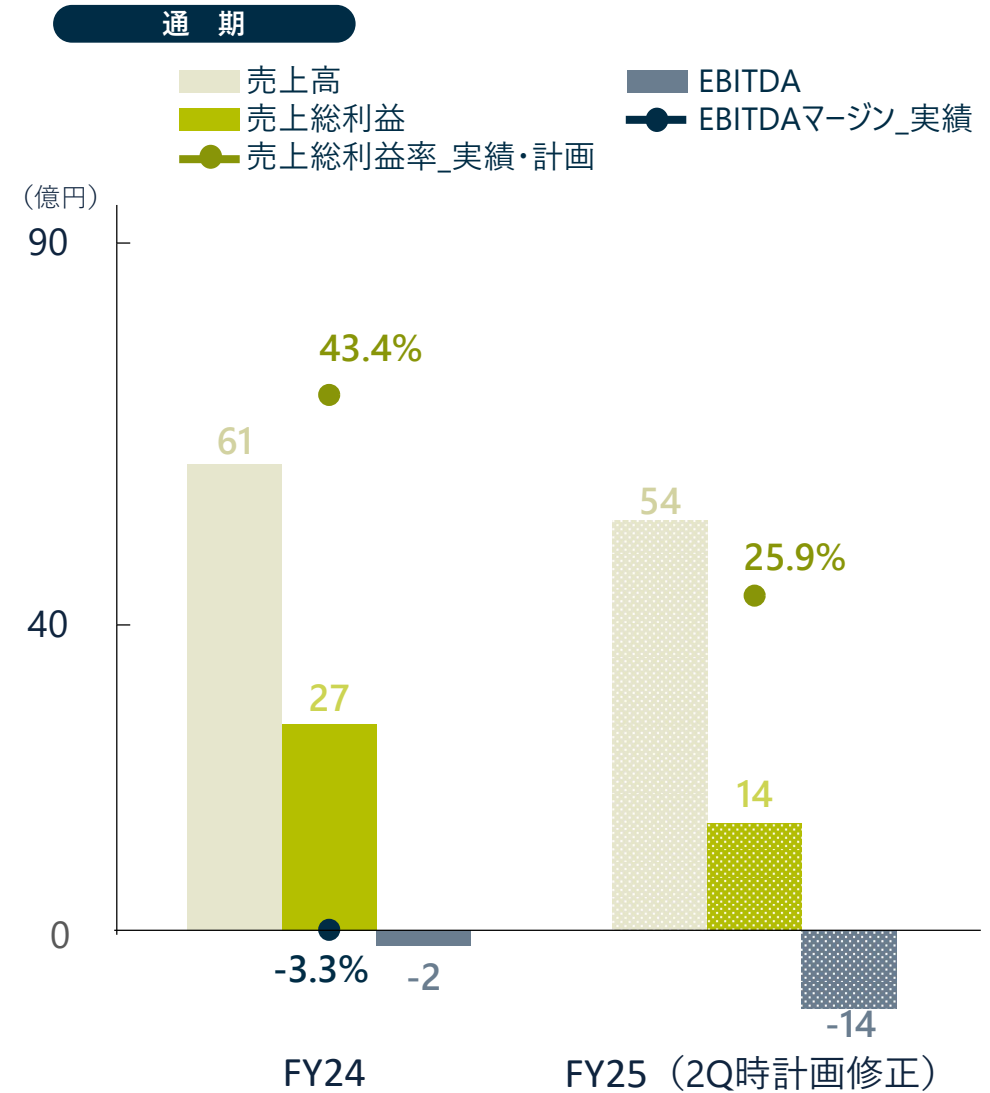
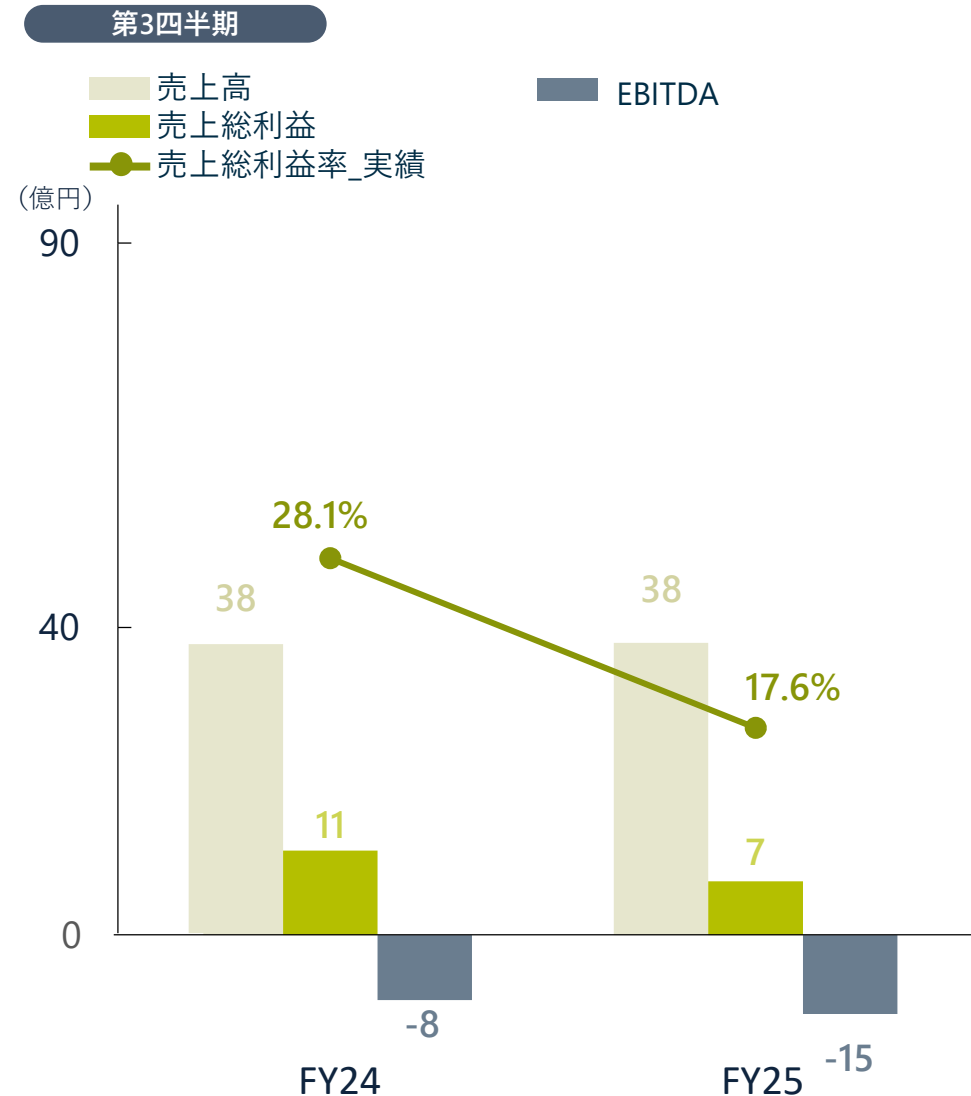
舗 装

前田製作所（連結）

機 械

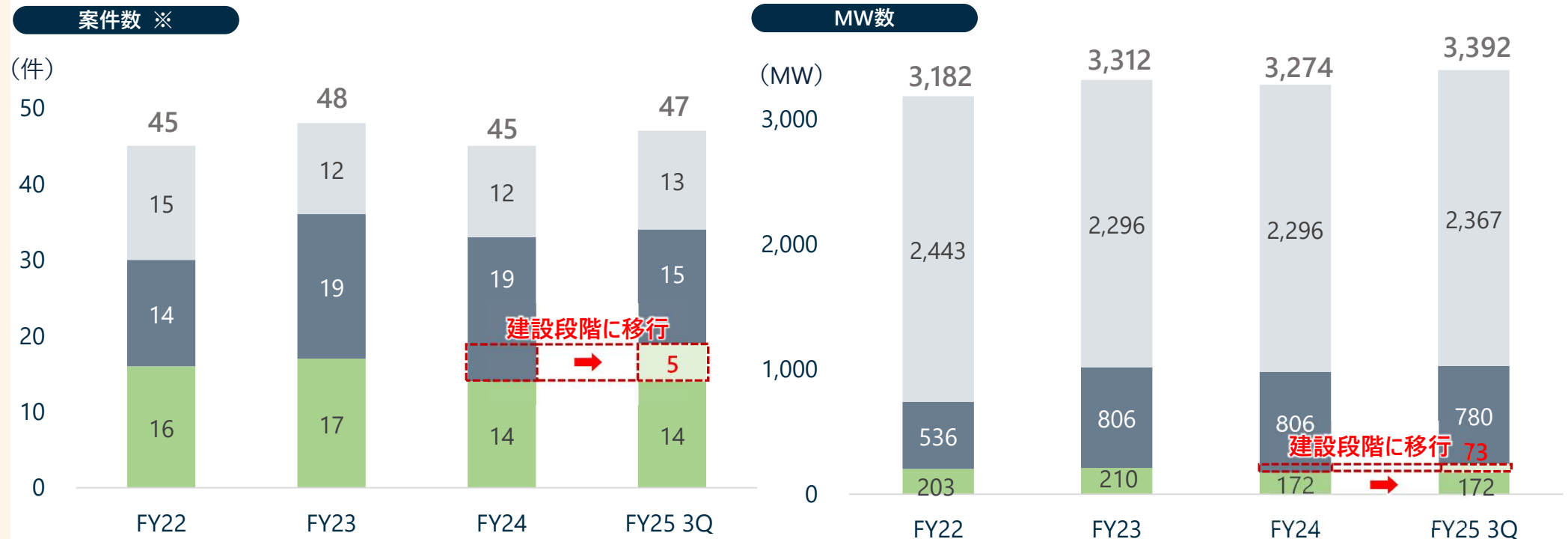
3-2-1. 売上高、売上総利益、EBITDAの推移

- FY25 3Q 売上高は横ばい。手持ち発電所の売電量が減少したため、前年同期比で減益
- FY25通期 売電・O&Mの順調な進捗により修正後の通期計画達成を見込む



3-2-2. 運営中および開発中案件の推移

- 前期末比での新規2案件(118MW)を積み増し
- 1Q 4案件、2Q 1案件の建設工事を開始し、現在5案件の建設工事を実施中

案件
ステータスFIT/FIP入札予定案件
コーポレートPPAなど、FIT/FIPに頼らない案件

FIT/FIP取得済み

着工又は建設中

運営中

風力発電所の
開発プロセス

FS調査

風況調査
許認可調査
地元事前協議など

開発（調査・各所協議・設計等）

用地・許認可取得（FIT/FIP取得含）
環境アセスメント
電力会社手続き（系統連系）

工事計画届

建設

土木工事
風車組立工事
電気設備工事

運営・保守

運営
点検・保守
遠隔監視・制御

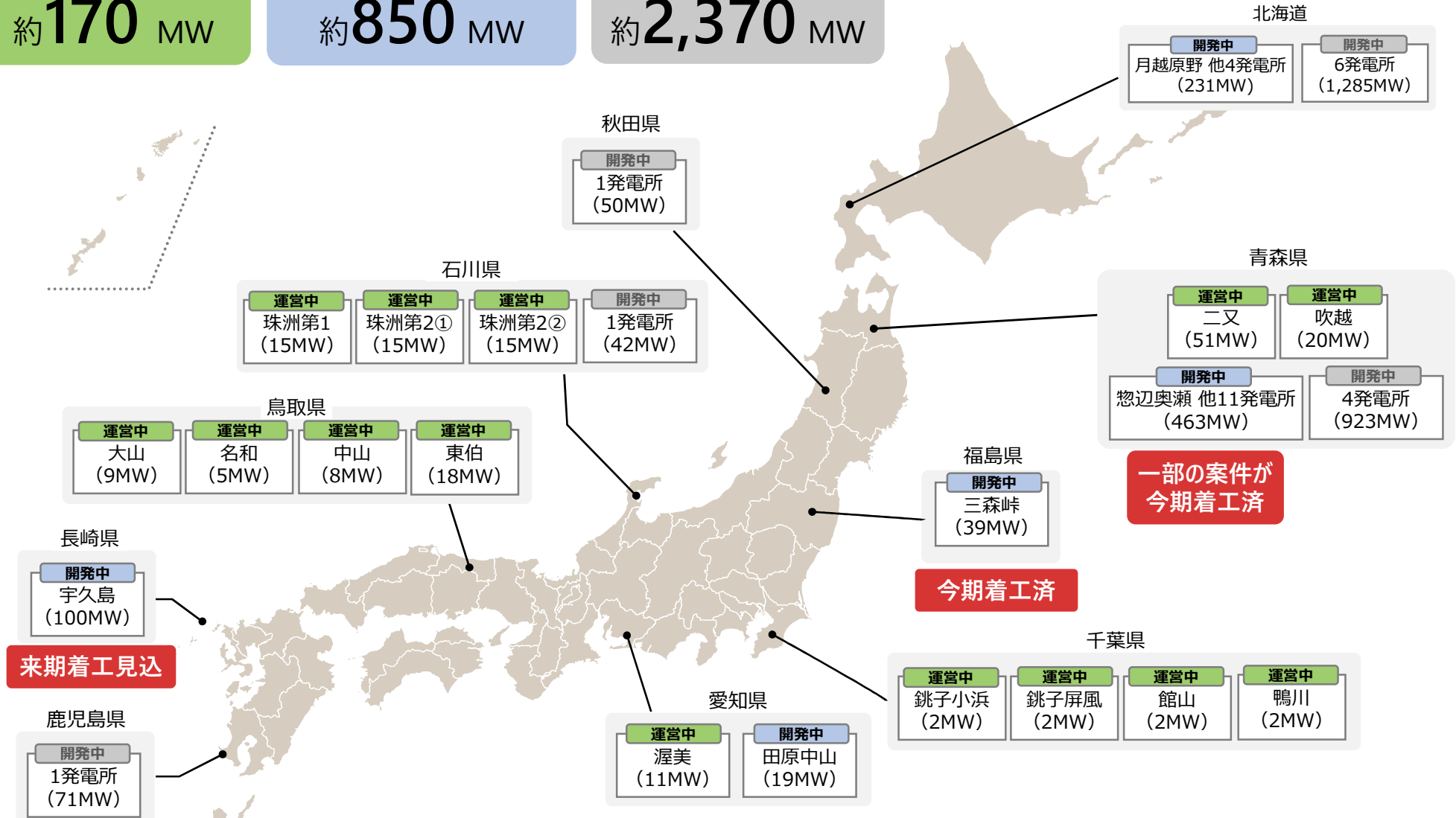
3-2-3. 風力発電事業の取り組み状況

- 開発から運営まで、風力事業のすべてのフェーズを自社グループで対応
- 地域との共生を第一に、常に地域と対話をしながら開発を推進

運営中
約**170** MW

開発中 (FIT/FIP取得済)
約**850** MW

開発中 (入札予定・非FIT/FIP)
約**2,370** MW



セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

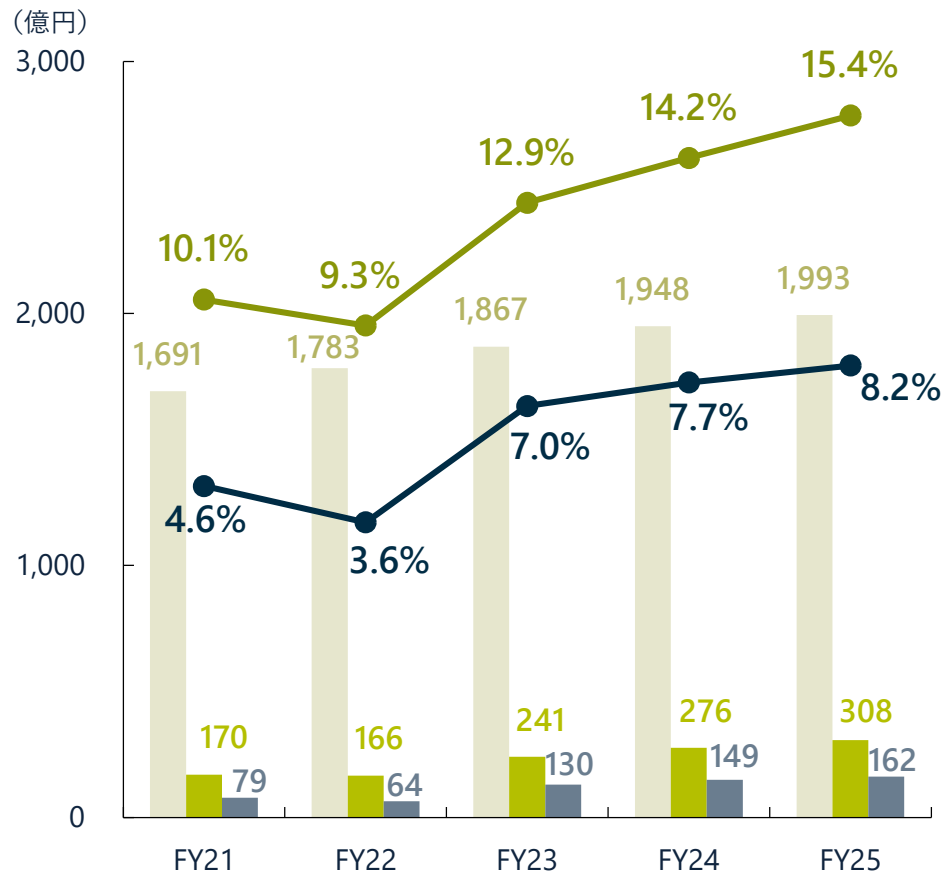
機 械

4-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 3Q 受注時利益率管理の徹底や、適切な価格転嫁により、**前年同期比増収増益**
- FY25 通期 受注時利益率の確保や適切な販売価格の維持により**通期計画の達成**を見込む

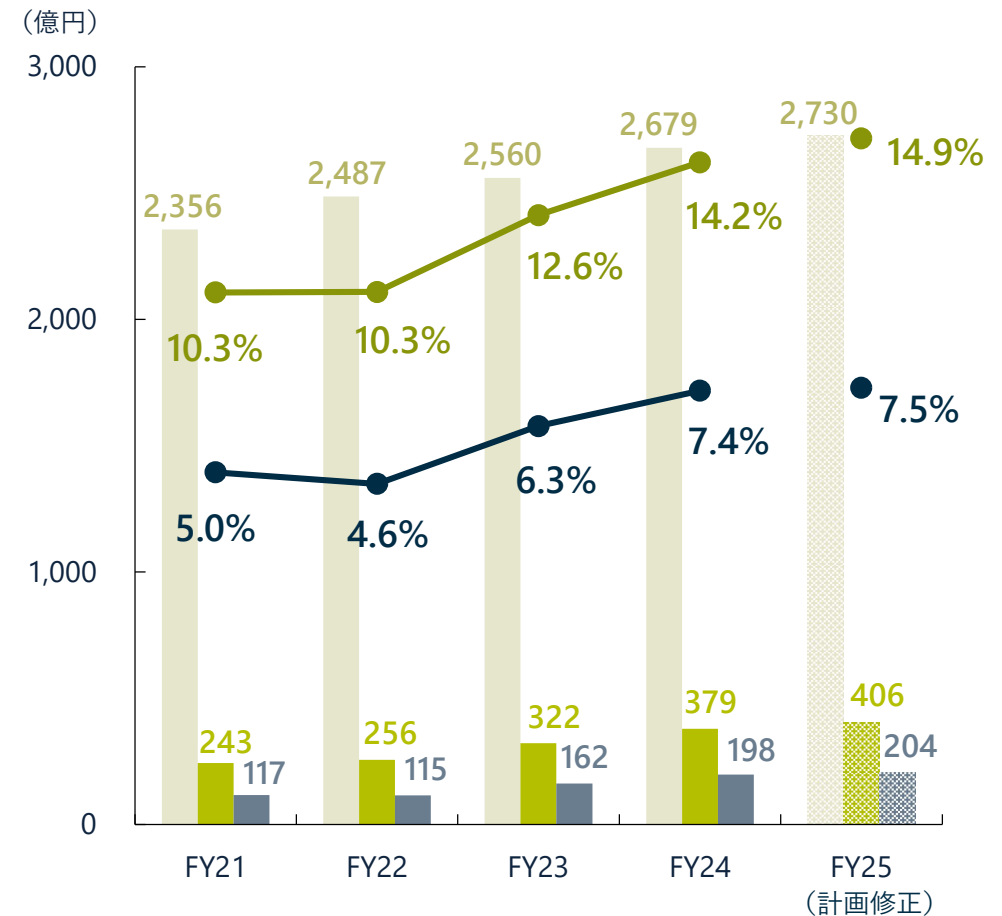
第3四半期

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績
営業利益
営業利益率_実績



通 期

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績・計画
営業利益
営業利益率_実績・計画

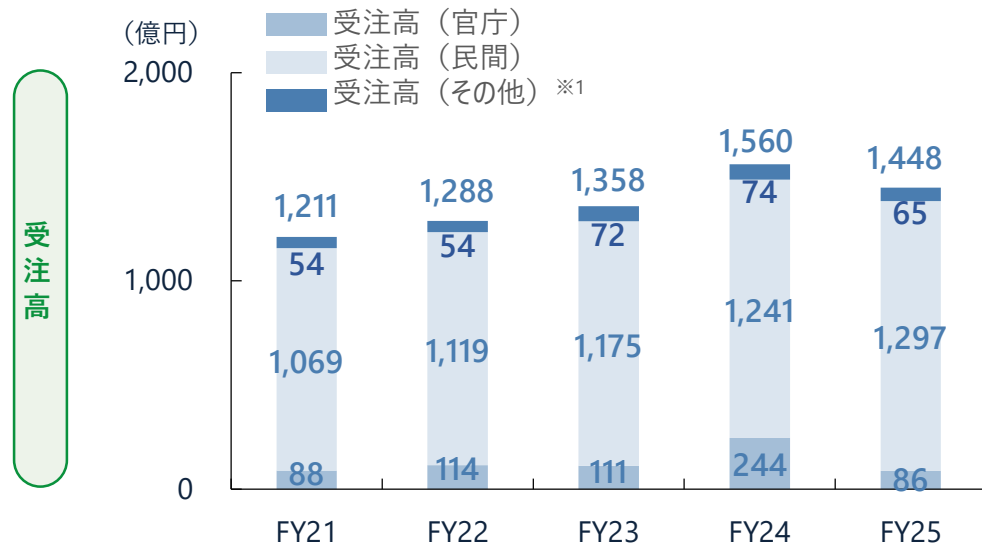


※上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフラグループ内の連結消去を考慮していない

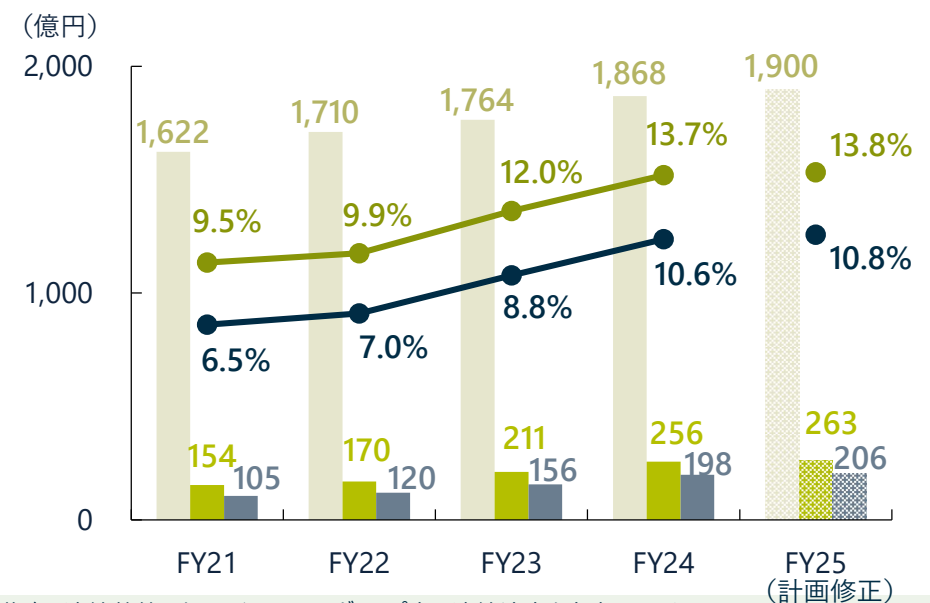
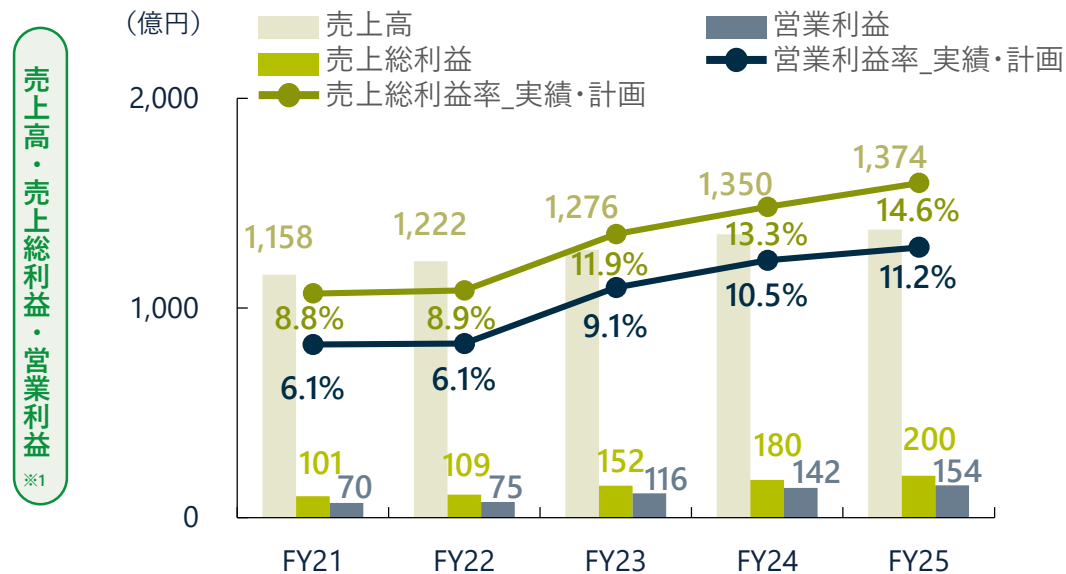
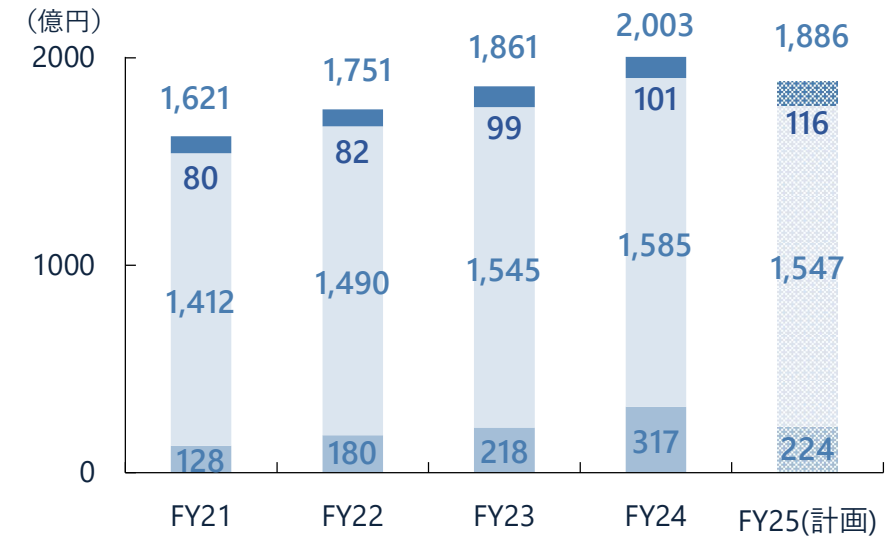
4-2. 【建設事業】受注高、売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 3Q 受注時利益率管理の徹底により、**前年同期比増収増益**
- FY25 通期 受注時利益率の確保に加え、受注後の利益向上を図り、**通期計画の達成**を見込む

第3四半期



通 期



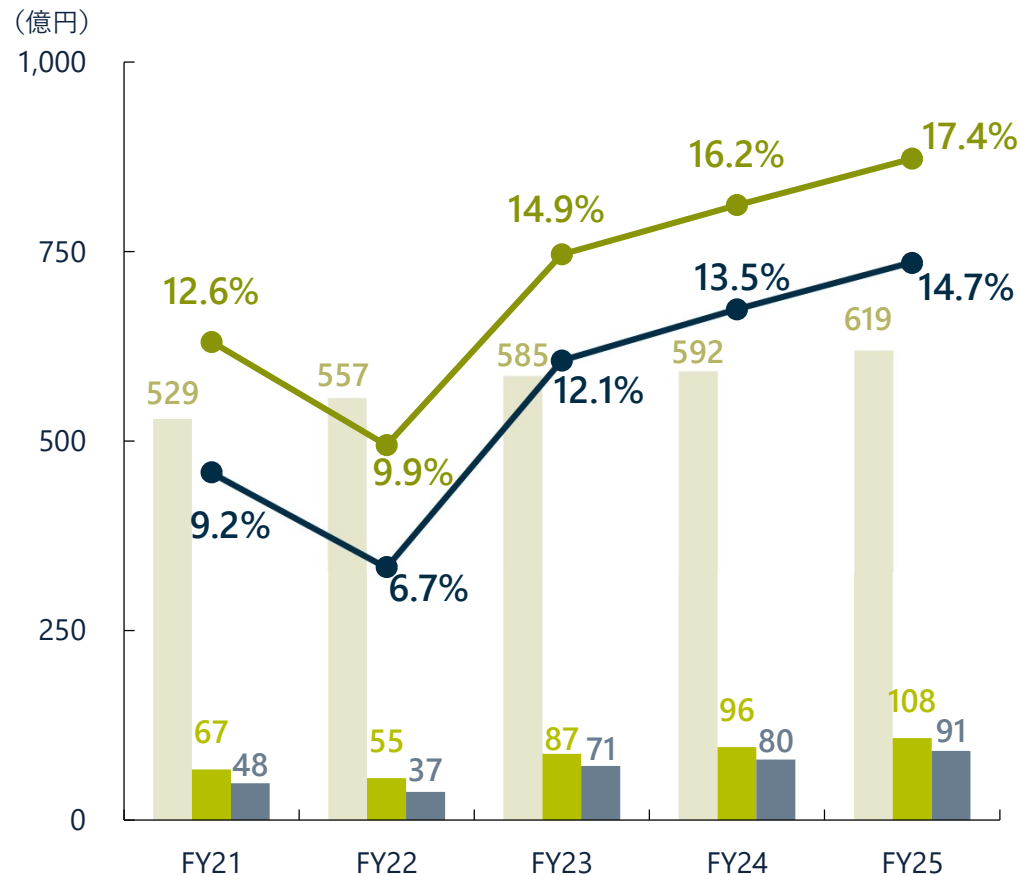
※1 その他：関連会社の受注高（主に官庁工事）及びセグメント内取引消去高 ※上記数値は、従来の前田道路の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

4-3. 【製造販売事業】売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 3Q 前期に実施した価格転嫁の進捗と原材料費の落ち着きにより、**前年同期比増収増益**
- FY25 通期 外部環境に応じた適切な販売価格の維持により、**通期計画の達成**を見込む

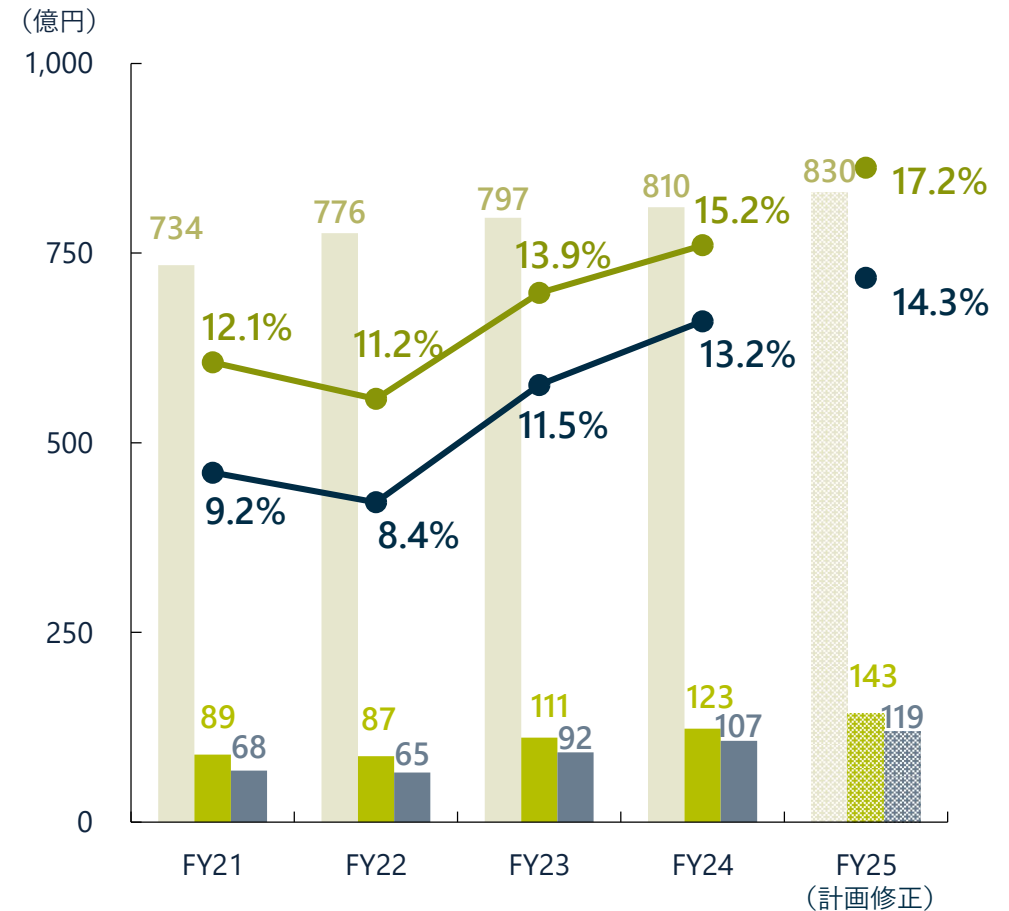
第3四半期

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績
営業利益
営業利益率_実績



通 期※

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績・計画
営業利益
営業利益率_実績・計画



※上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

セグメント別ハイライト

前田建設
三井住友建設

建 築

前田建設
三井住友建設

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

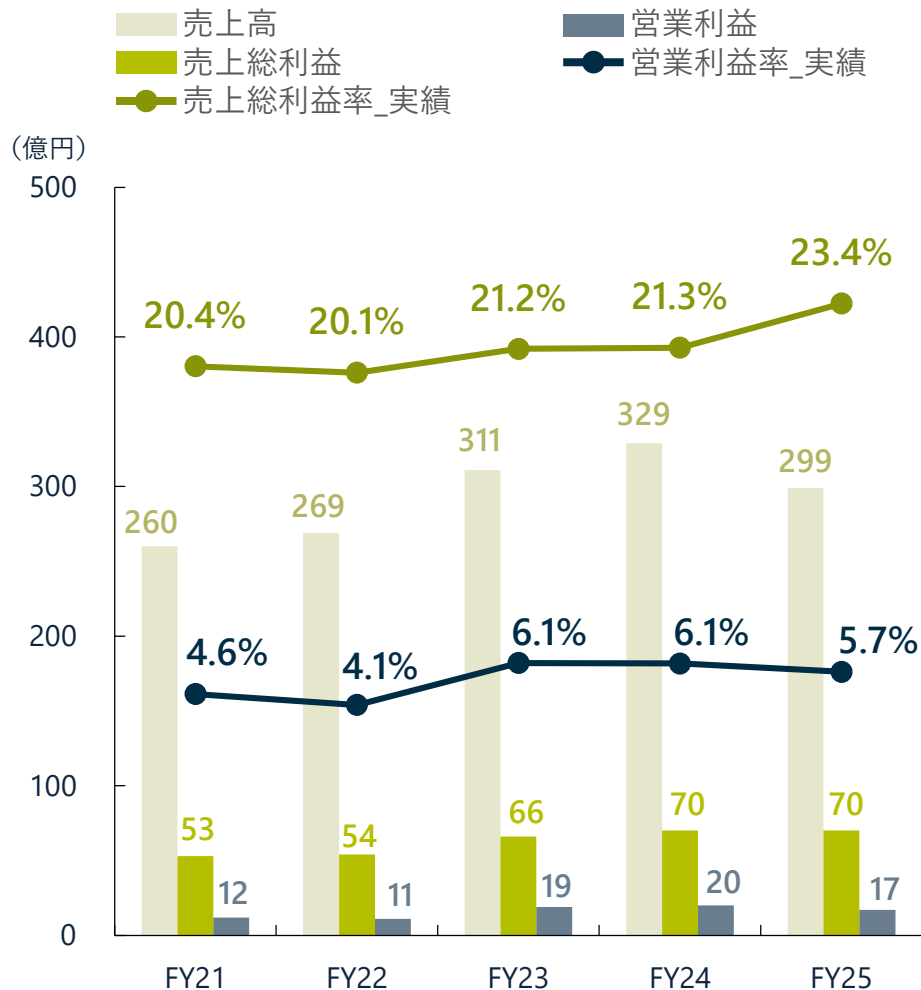
前田製作所（連結）

機 械

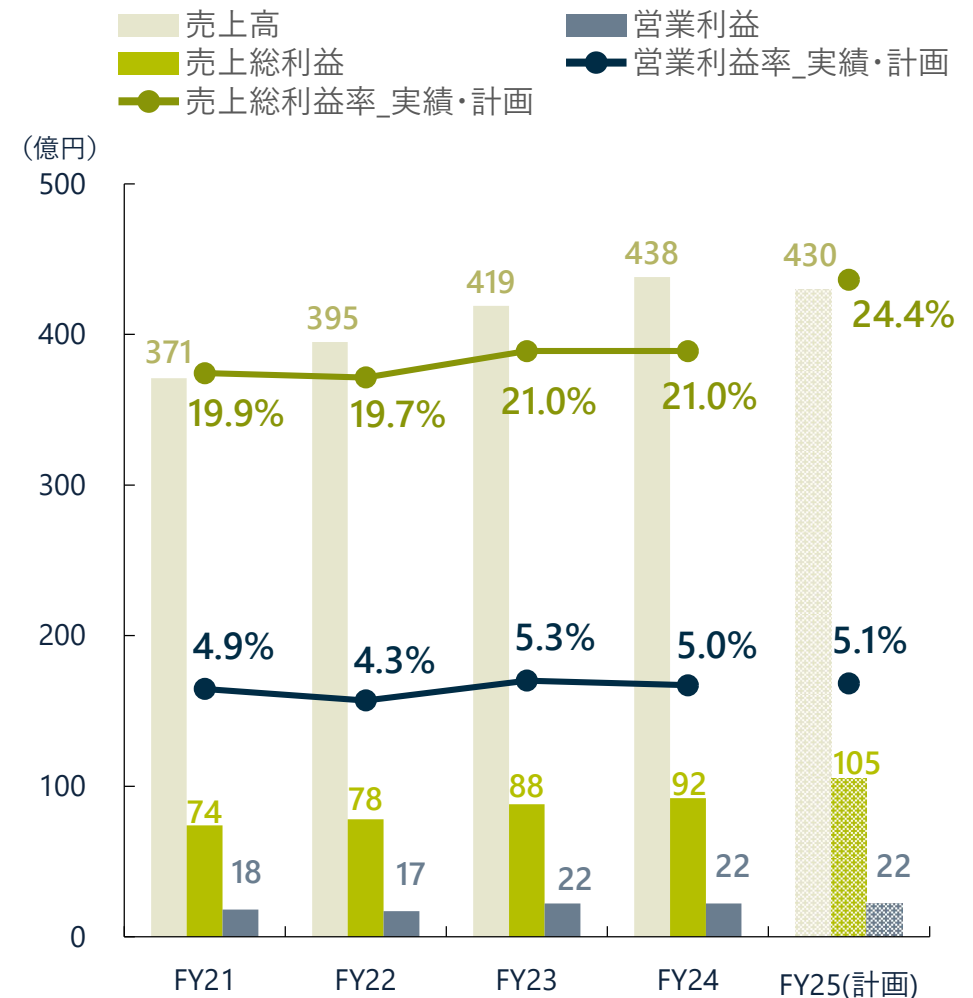
5-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 3Q 建機本体の受注減少や一部商品の商流変更により売上高は減少。原価高騰により未吸収となっていたコストに対し、1Qに価格改定を実施したことや生産の効率化により、**売上総利益率は改善**
- FY25 通期 通期計画達成に向けたバッテリー仕様機やICT建機を中心とした高付加価値製品の販売・レンタルを強化により売上・利益の増加を図る

第3四半期



通 期



※上記数値は、前田製作所の従来の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

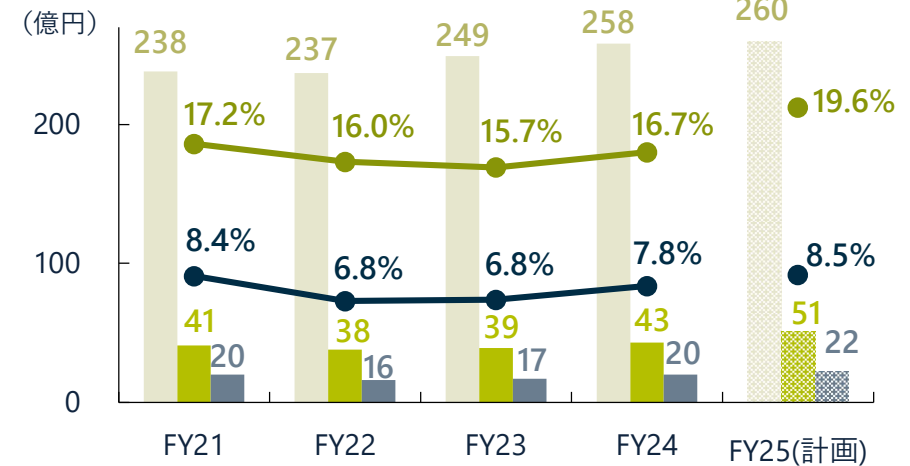
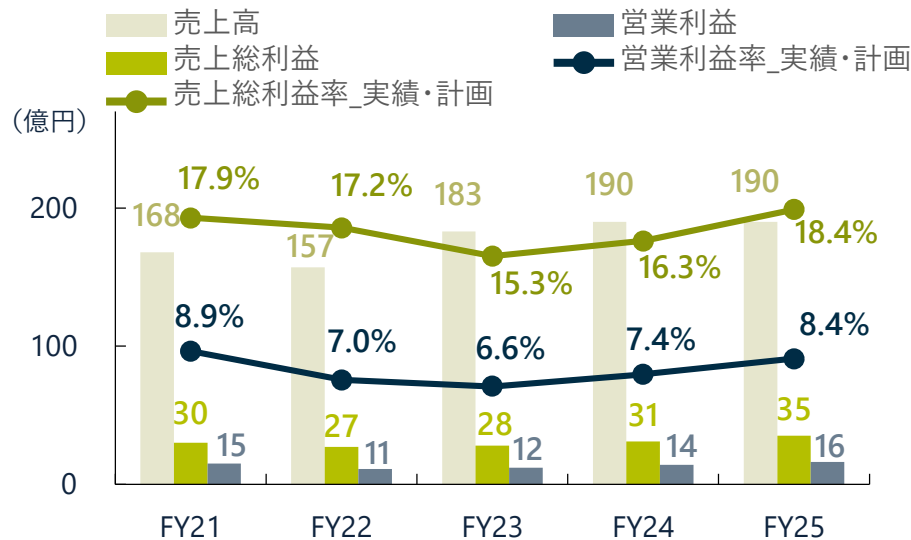
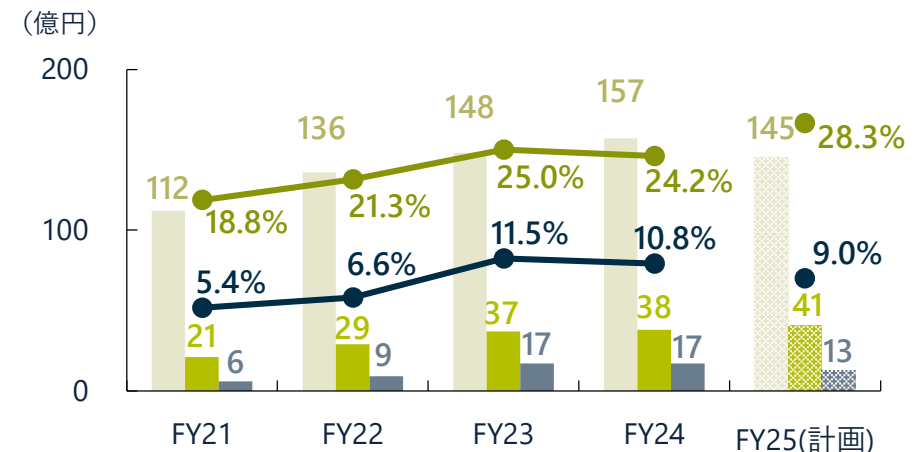
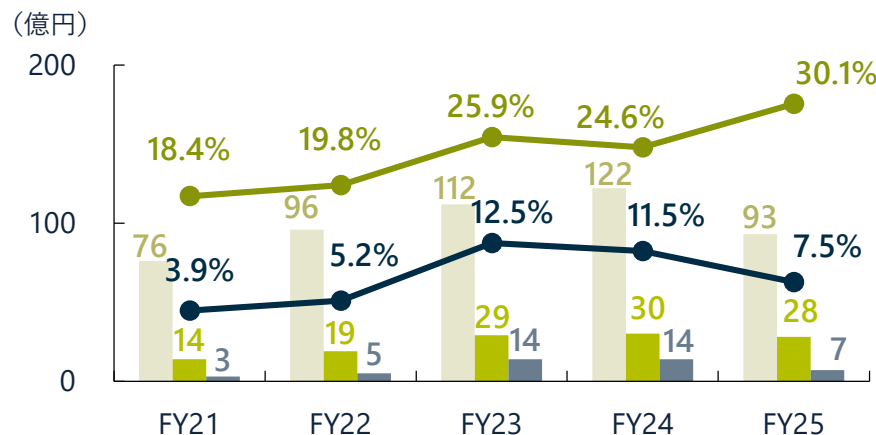
5-2. 【建設機械※1、産業・鉄構機械等※2】売上高、売上総利益、営業利益の推移※3

43

- FY25 3Q 建設機械においては、建機本体の受注台数が減少したが、今期より事業移管したフォークリフト事業による増収効果により、前期並みに推移。産業・鉄構機械等においては、一部産機商品の商流変更の影響等により減収減益
- FY25 通期 通期計画達成に向けたバッテリー仕様機やICT建機を中心とした高付加価値製品の販売強化、環境商品を中心としたレンタル事業拡大に向けた取り組みを加速させ、売上・利益の増加を図る

第3四半期

通 期

建設機械
※1産業・鉄構機械等
※2

※1 コマツ製品の販売・サービス・レンタルを主体とした事業 ※2 クレーン等自社製品の設計・製造・販売を主体とした事業 ※3 機械セグメントの内、主要事業である建設機械事業、産業・鉄構機械等事業の数値
 ※ セグメント毎の営業利益算出時に本支店の一般管理費は控除していない ※上記数値は前田製作所の従来の連結数値であり、インフラグループ内の連結消去を考慮していない

FY25 3Q実績とFY25通期計画

1. 前田建設【連結】 FY25 3Q実績と通期計画

(億円) 45

		FY24	FY25	前年
		3Q実績	3Q実績	同期比
売上高		3,753	4,246	492
建築	計	2,506	2,806	300
	国内	2,424	2,749	325
	海外	82	57	△ 25
土木	計	1,046	1,164	117
	国内	1,044	1,164	119
	海外	2	0	△ 2
インフラ運営		180	256	75
その他		20	20	△ 0
売上総利益		457 (12.2%)	620 (14.6%)	164
建築	計	234 (9.3%)	344 (12.3%)	110
	国内	226 (9.3%)	340 (12.4%)	114
	海外	8 (9.2%)	4 (6.9%)	△ 4
土木	計	203 (19.4%)	225 (19.3%)	22
	国内	203 (19.5%)	224 (19.3%)	21
	海外	△ 0 (△7.6%)	1 (343.5%)	1
インフラ運営		16 (8.8%)	47 (18.3%)	31
その他		4 (18.1%)	4 (22.0%)	1
一般管理費		311 (8.3%)	306 (7.2%)	△ 5
営業利益		146 (3.9%)	315 (7.4%)	169
経常利益		162 (4.3%)	312 (7.3%)	150
当期純利益		157 (4.2%)	425 (10.0%)	268

FY25	3Q
通期計画	進捗率
6,021	70.5%
3,971	70.7%
-	-%
-	-%
1,719	67.7%
-	-%
-	-%
300	85.2%
31	66.9%
821 (13.6%)	75.6%
438 (11.0%)	78.6%
- (-%)	-%
- (-%)	-%
315 (18.3%)	71.5%
- (-%)	-%
- (-%)	-%
62 (20.7%)	75.5%
6 (20.6%)	71.6%
434 (7.2%)	70.4%
386 (6.4%)	81.4%
374 (6.2%)	83.3%
498 (8.3%)	85.4%

2. 前田道路【連結】 FY25 3Q実績と通期計画

(億円)

	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	3Q 進捗率
売上高	1,948	1,993	45	2,730	73.0%
建設事業	1,351	1,374	23	1,900	72.3%
製造販売	598	619	22	830	74.6%
売上総利益	276 (14.2%)	308 (15.4%)	31	406 (14.9%)	75.9%
建設事業	185 (13.7%)	200 (14.6%)	15	263 (13.8%)	76.0%
製造販売	92 (15.3%)	108 (17.4%)	16	143 (17.2%)	75.5%
一般管理費	127 (6.5%)	145 (7.3%)	18	202 (7.4%)	71.8%
営業利益	149 (7.7%)	162 (8.2%)	13	204 (7.5%)	79.4%
経常利益	153 (7.8%)	165 (8.3%)	12	207 (7.6%)	79.7%
当期純利益	103 (5.3%)	114 (5.7%)	11	137 (5.0%)	83.2%

3. 前田製作所【連結】 FY25 3Q実績と通期計画

(億円)

47

	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	前年 同期比
売上高	329	299	△30
建設機械	190	190	△0
産業・鉄構機械等	122	93	△29
介護用品・その他	17	16	△1
売上総利益	70 (21.3%)	70 (23.4%)	0
建設機械	31 (16.3%)	35 (18.4%)	4
産業・鉄構機械等	30 (24.6%)	28 (30.1%)	△2
介護用品・その他	9 (52.9%)	8 (50.0%)	△1
一般管理費	50 (15.2%)	53 (17.7%)	3
営業利益	20 (6.1%)	17 (5.7%)	△3
経常利益	21 (6.4%)	19 (6.4%)	△2
当期純利益	15 (4.6%)	13 (4.3%)	△2

FY25 通期計画	3Q 進捗率
430	69.5%
260	73.1%
145	64.1%
25	64.0%
105 (24.4%)	66.7%
51 (19.6%)	68.6%
41 (28.3%)	68.3%
13 (52.0%)	61.5%
83 (19.3%)	63.9%
22 (5.1%)	77.3%
22 (5.1%)	86.4%
14 (3.3%)	92.9%

4. 日本風力開発【連結】 FY25 3Q実績と通期計画

(億円)

	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	3Q 進捗率
売上高	38	35	△2	54	66.0%
開発	14	13	△1	29	45.9%
O&M	20	20	△0	21	98.0%
その他	3	2	△1	4	46.0%
売上総利益	6 (16.8%)	6 (16.8%)	0	15 (28.5%)	38.9%
開発	0 (0.4%)	1 (6.4%)	1	4 (15.5%)	18.9%
O&M	5 (25.5%)	4 (21.4%)	△1	9 (43.0%)	48.8%
その他	1 (37.2%)	1 (39.9%)	△0	2 (46.5%)	39.6%
一般管理費	30 (79.4%)	32 (90.5%)	2	44 (82.6%)	72.3%
営業利益	△24 (-)	△26 (-)	△2	△29 (-)	-
経常利益	△26 (-)	△29 (-)	△3	△33 (-)	-
当期純利益	△28 (-)	△78 (-)	△49	△41 (-)	-

5. 三井住友建設【連結】 FY25 3Q実績と通期計画

(億円)

		FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	3Q 進捗率
売上高		3,432	2,927	△505	4,011	73.0%
建築	計	1,847	1,437	△410	1,888	76.1%
	国内	1,479	1,088	△391	1,392	78.2%
	海外	368	349	△19	496	70.3%
土木	計	1,581	1,489	△92	2,122	70.2%
	国内	1,264	1,265	1	1,745	72.5%
	海外	317	224	△93	377	59.5%
その他		4	1	△3	1	66.8%
売上総利益		212 (6.2%)	343 (11.7%)	131	430 (10.7%)	79.7%
建築	計	1 (0.1%)	141 (9.8%)	140	147 (7.8%)	96.1%
	国内	△28 (△1.9%)	106 (9.7%)	134	104 (7.4%)	102.2%
	海外	29 (7.9%)	35 (10.0%)	6	44 (8.8%)	79.5%
土木	計	209 (13.2%)	201 (13.5%)	△8	282 (13.3%)	71.3%
	国内	164 (13.0%)	183 (14.5%)	19	246 (14.1%)	74.5%
	海外	45 (14.2%)	18 (7.9%)	△27	36 (9.4%)	49.4%
その他		2 (50.0%)	1 (95.1%)	△1	1 (97.8%)	64.9%
一般管理費		195 (5.7%)	212 (7.2%)	17	287 (7.1%)	73.9%
営業利益		16 (0.5%)	131 (4.5%)	115	143 (3.6%)	91.5%
経常利益		△9 (△0.3%)	122 (4.2%)	131	115 (2.9%)	106.4%
当期純利益		△75 (△2.2%)	83 (2.8%)	158	79 (2.0%)	105.5%

6. 主なグループ会社のFY25 3Q実績と通期計画（前田建設グループ）

（百万円）

連結子会社	(株)エフビーエス ※1			フジミ工研(株) ※1			(株)JM ※2		
	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画
売上高	13,324	10,734	15,693	8,657	9,177	13,713	17,166	18,033	25,500
営業利益	276	188	296	76	498	589	△209	△10	150
経常利益	293	218	329	139	584	671	△185	△1	160
当期純利益	207	136	223	△3	576	568	△224	△39	100

持分法 適用会社	光が丘興産(株) ※2		
	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画
売上高	3,244	3,430	4,520
営業利益	728	882	1,010
経常利益	2,456	2,515	2,650
当期純利益	1,989	1,765	1,600

※1 日本基準・各社の連結

※2 日本基準・単体

7. 主なグループ会社のFY25 3Q実績と通期計画（三井住友建設グループ）

51

（百万円）

国内 連結子会社	三井住建道路(株) ※1			三井住友建設鉄構エンジニアリング(株)			ドーピー建設工業(株)		
	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画
売上高	21,445	21,567	30,450	11,390	12,483	19,040	8,354	8,857	11,500
営業利益	170	337	710	348	336	800	15	23	330
経常利益	212	354	710	291	292	700	△86	△67	160
当期純利益	106	178	420	195	202	487	△90	△60	90

海外 連結子会社	SMCCコンストラクションインド(株)			(株)SMCCウタマインドネシア			SMCCオーバースーズシンガポール(株)		
	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画	FY24 3Q実績	FY25 3Q実績	FY25 通期計画
売上高	11,039	15,141	22,680	4,933	3,141	4,978	4,558	6,408	9,343
営業利益	689	1,210	1,221	380	720	817	155	216	302
経常利益	1,714	1,444	1,302	341	688	787	122	166	228
当期純利益	1,298	1,080	975	236	607	655	101	142	189

※1 日本基準・各社の連結

【補足資料】 ESG評価の継続的向上

✓ CDP「気候変動」分野において最高評価のAリスト*に昨年に続き2年連続で選定されました！

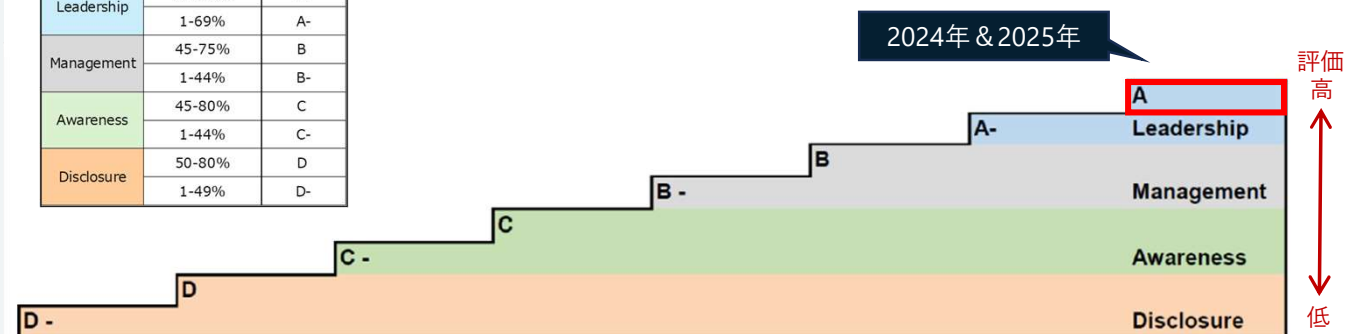
* **Aリストに選出されることは、気候変動対策において世界をリードする企業として認められたことを意味**します。

* 2025年は、全世界で22,100社を超える企業が回答しており、スコアリング対象の約20,000社の4%にあたる877社がAリスト企業として選定されています。



Level	閾値	Score band
Leadership	70-100%	A
	1-69%	A-
Management	45-75%	B
	1-44%	B-
Awareness	45-80%	C
	1-44%	C-
Disclosure	50-80%	D
	1-49%	D-

出典：CDP Full Corporate Scoring Introductionをもとにインフロニアにて作成



情報開示を行わない、あるいは十分な情報を提供しない企業はDid not discloseと表示され、最高ランクの「A」を獲得した企業は「**Aリスト**」に選定される

関連リリース：[CDP2025の「気候変動」分野における 最高評価「Aリスト」に2年連続で選定 | ニュース | インフロニア・ホールディングス株式会社【公式】](#)

✓ Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数がグループ2に昇格しました！

* **Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数がグループ2に昇格**したほか、近年はFTSE Blossom Japan Sector Relative Index、MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数にも構成銘柄入りしており、インフロニアの**サステナビリティの取り組み/開示の充実が評価**されています。

* インフロニアは、GPIFが採用する6つのESGインデックス（右表）のうち、**4つのESGインデックス**にて構成銘柄入りしています。

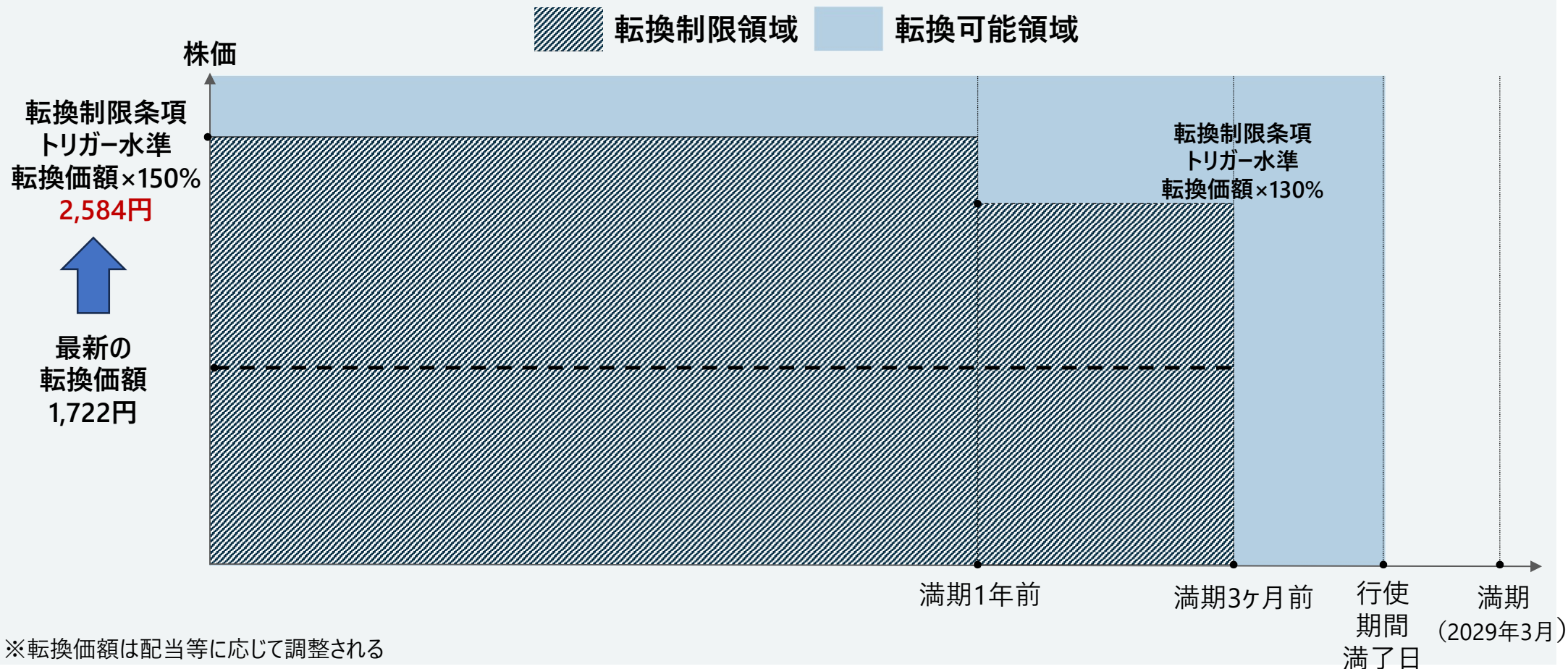
	名称	ステータス
総合型	FTSE Blossom Japan Index	—
	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	2024/06～構成銘柄入り
	MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数	2023/12～構成銘柄入り
テーマ型	S & P/JPXカーボン・エフィシエント指数	構成銘柄入り
	MSCI 日本株女性活躍（WIN）指数	—
	Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト（GenDiJ）指数	構成銘柄入り （グループ2へ昇格）

【補足資料】ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の転換制限条項について

53

- 2024年3月に600億円のユーロ円建転換社債型新株予約権付社債（グリーンCB）の発行を決議
- **転換制限条項の付与**により、転換を極力抑制し、既存株主の議決権希薄化に配慮
- **最新の転換価額の150%超の株価が20連続取引日以上続いた場合、新株に転換可能**となる
（満期1年前から3か月前の期間は転換価額の130%）
- 2026年2月10日時点の転換価額は1722.8円であり、**株価2,584円を20連続取引日以上超えない限り転換可能と**
ならない

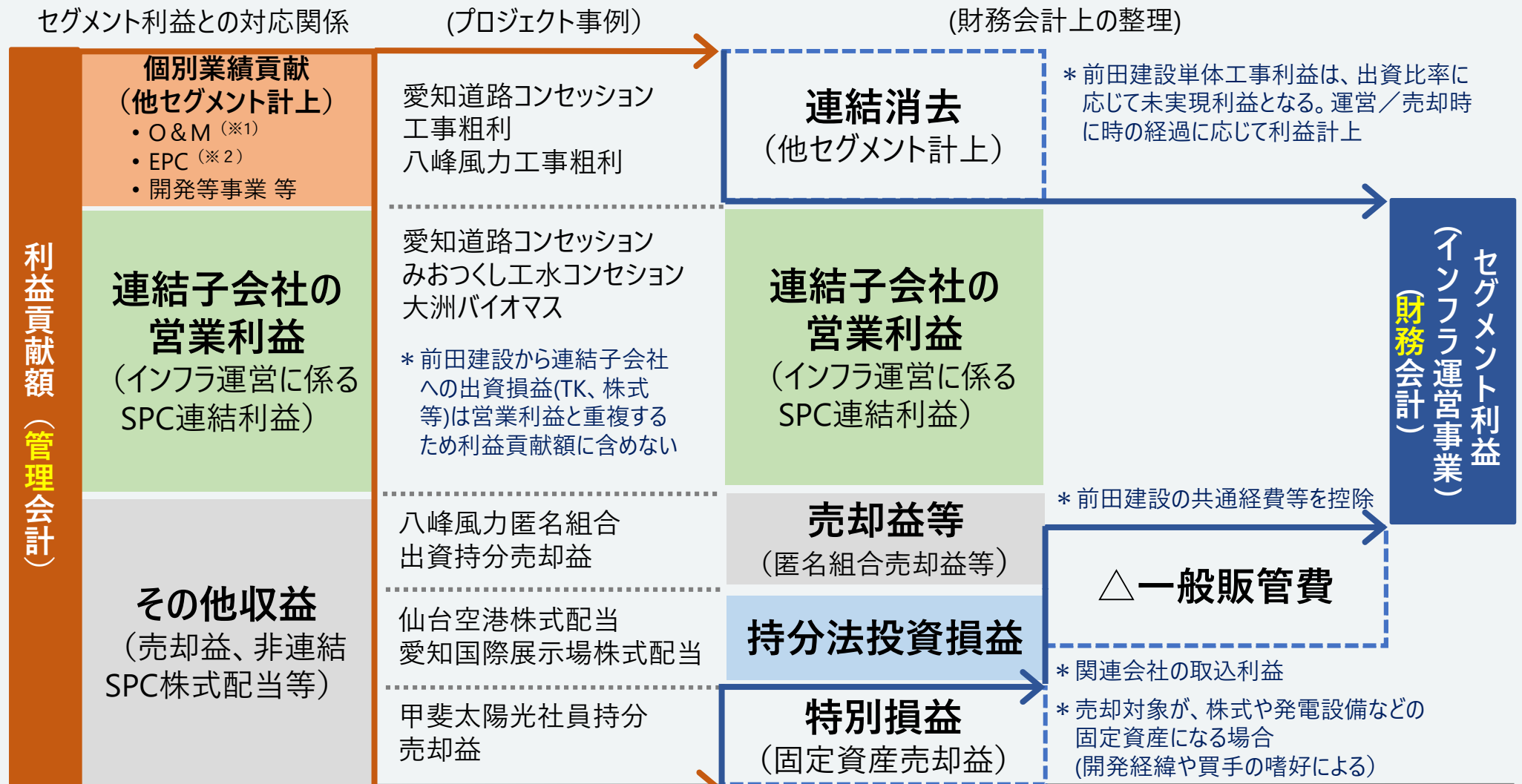
転換制限条項のイメージ



【補足資料】インフラ運営セグメント「利益貢献額」と「セグメント利益」の違いについて

54

- 「利益貢献額」は、連結子会社個別の工事粗利、その他収益、営業利益を合計した**管理会計上の実質的な貢献額**。出資比率や売却スキームにより、連結上の利益表示箇所が異なることを考慮したもの
- 連結財務諸表の「**セグメント利益(インフラ運営事業)**」は、利益貢献額に含まれる工事利益などを連結消去し、管理部門の共通経費を控除した**財務会計上の営業利益**で、営業外/特別損益を計上する前の値



※利益貢献額では、前田本社共通経費等の一般管理費を考慮していない

※1 O&M インフラ施設の運転保守管理業務等

※2 EPC インフラ運営事業に伴う新築工事 大規模修繕工事等

【注意事項】

本資料に記載されている業績数値は、決算短信等を基にした数字を億円単位とし、四捨五入しております。このため、表示値の合計が実際の合計と一致しない場合があります。また、業績計画等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

インフラの未来に挑む
Challenge the status quo

 **INFRAONE Holdings Inc**